

BenQ

サイネージディスプレイ

ST4302S

使い方ガイド

目次

サイネージディスプレイの初期設定

- ✓ ハードウェアの設定
- ✓ 再生アプリ X-Sign Playerの設定

サイネージコンテンツ配信の手順

< 事前準備 >

- パソコンにアプリのインストール
 - ✓ コンテンツ作成配信アプリ X-Sign Designer

< コンテンツの作成 >

- X-Sign Designer アプリでコンテンツを作成

< コンテンツ配信の準備 >

- X-Sign Designer アプリで配信準備

➤ **USB配信**

➤ **ローカル配信**

➤ **Manager配信** ※

※Manager配信の方法

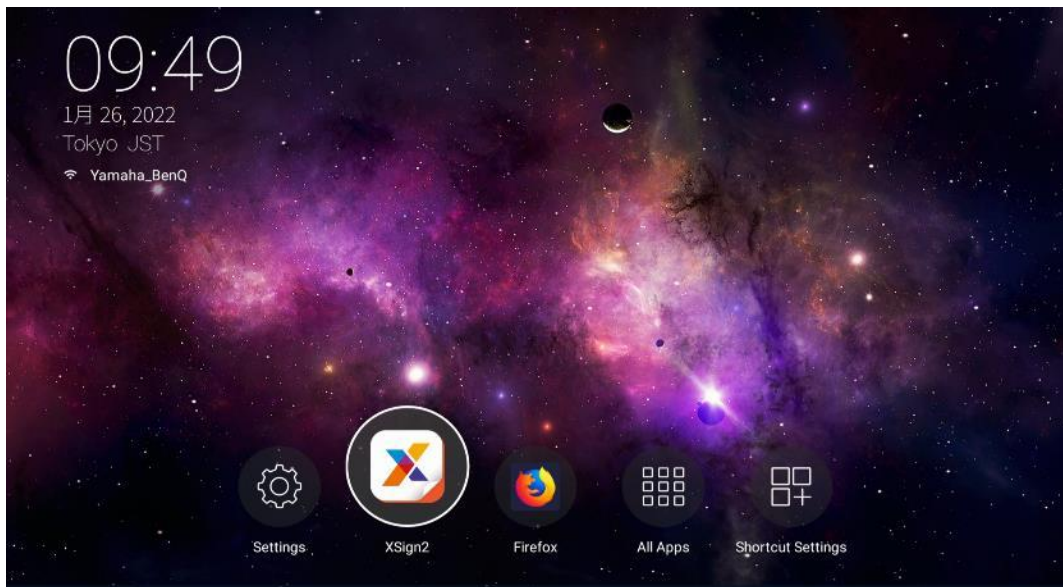
- 初めの準備
 - ✓ 管理者アカウントの作成
 - ✓ サイネージディスプレイのペアリング
 - ✓ ライセンス登録とデバイス登録
- Manager配信

サイネージディスプレイの 初期設定

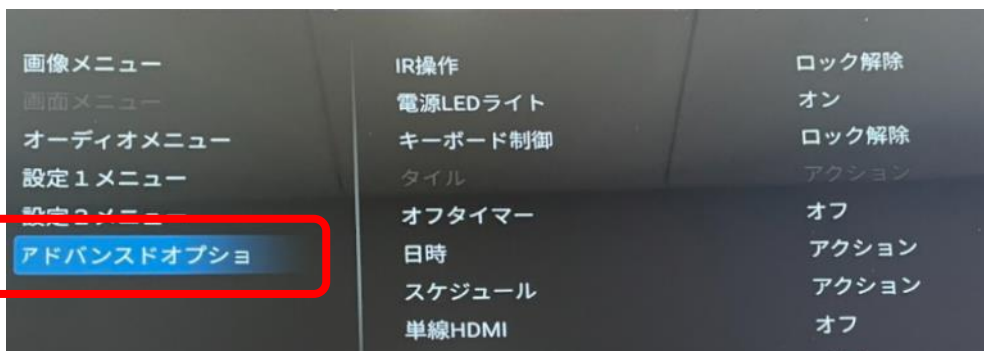
サイネージディスプレイの日時設定

配信スケジュールと連携するため、日時の設定でタイムゾーンを「日本」に選択してください。

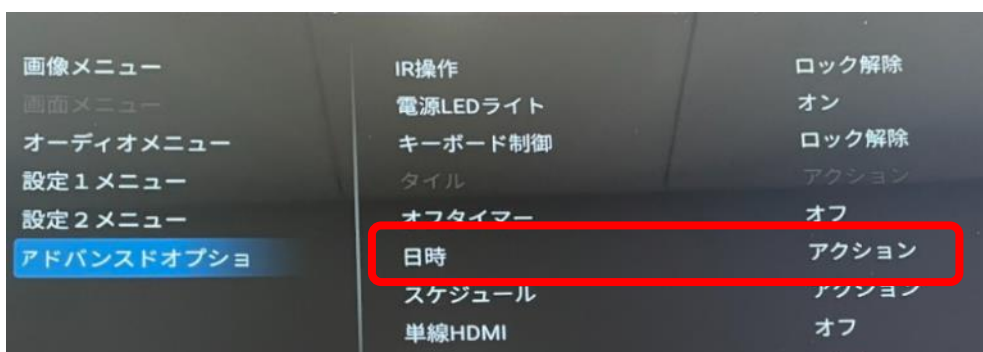
サイネージのホーム画面が示された状態で、リモコンの「リスト」ボタンを押す。



「アドバンスドオプションメニュー」を選択。

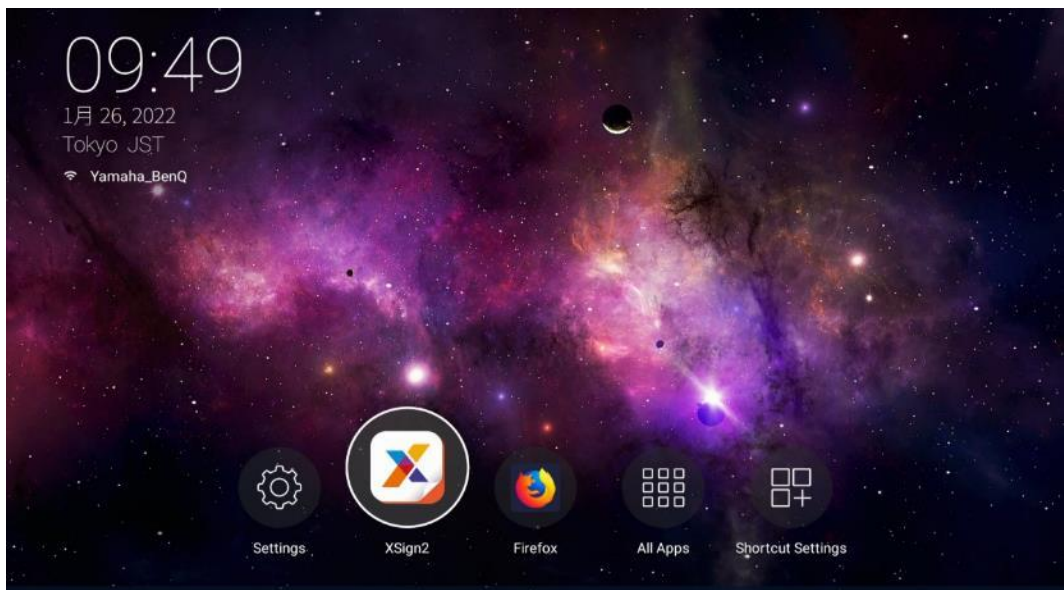


「日時」を選択し、タイムゾーンを選択できます。

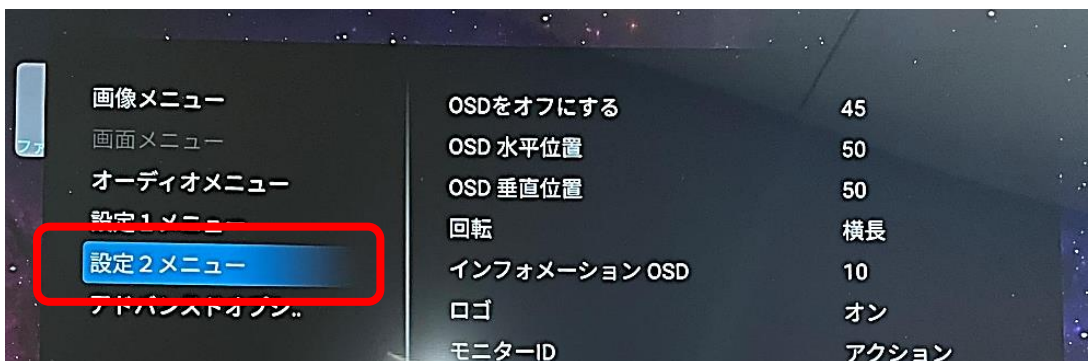


サインージディスプレイを縦表示で使用する場合

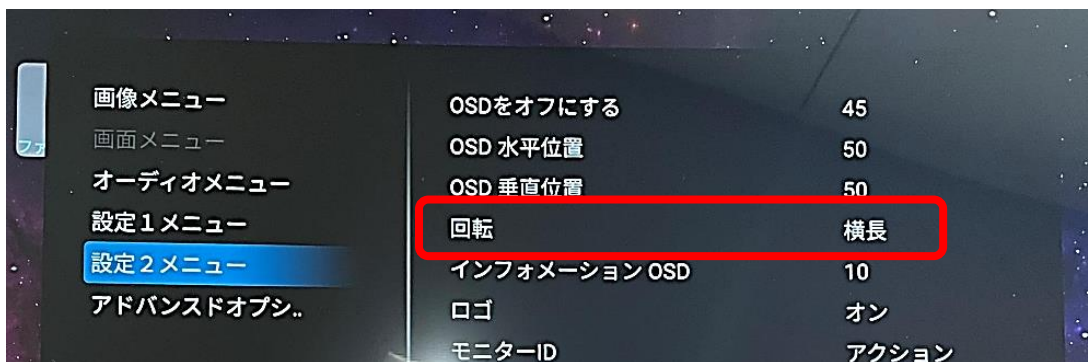
サインージのホーム画面が示された状態で、リモコンの「リスト」ボタンを押す。



「設定2メニュー」を選択。



「回転」で「縦長」選択。



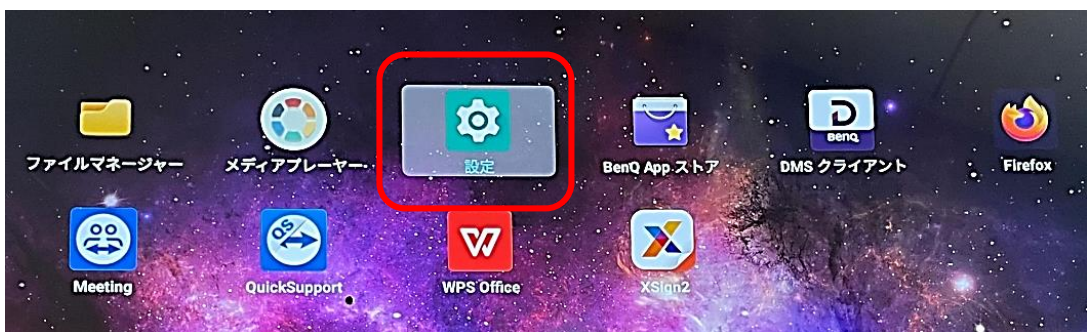
サイネージディスプレイのネットワーク設定

ソフトウェアアップデートや「ローカル配信」または「Manager配信」を使用する場合は、ネットワークの接続をしてください。

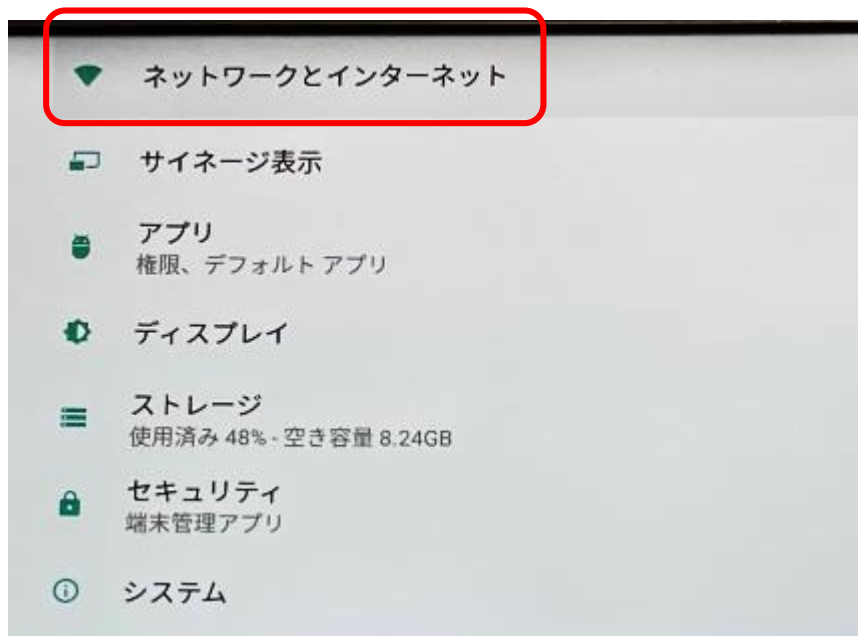
ネットワークの接続は、有線LANまたは専用の無線LAN子機(別売)で接続します。

<無線LAN子機利用時のWi-Fiの設定>

ホーム画面からリモコンで「設定」を選択。



「ネットワークとインターネット」でWi-Fi接続の設定ができます。



ソフトウェアのアップデート

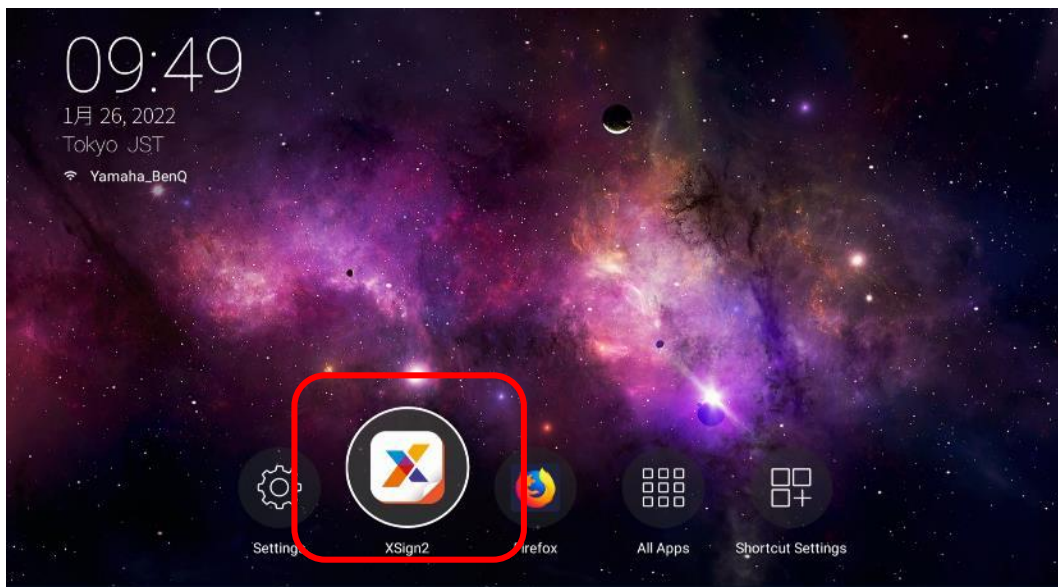
同じく「設定」アイコンから下記の手順でアップデートを実行できます。

「システム」→「バージョン情報」→「BenQ ソフトウェア アップデート」

X-Sign Player 2 (XSign2) アプリの設定

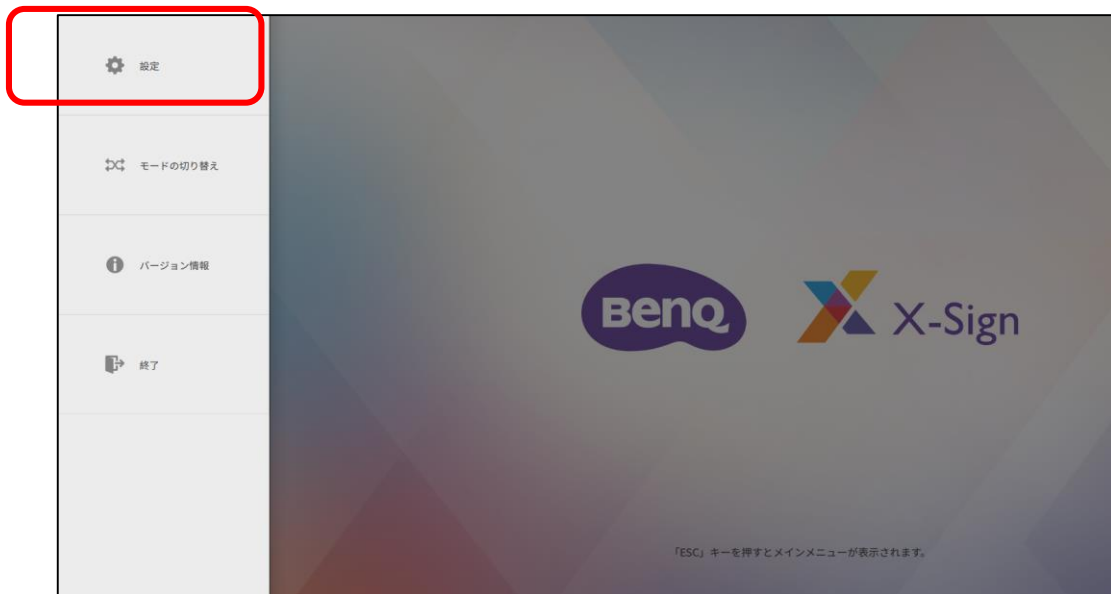
サイネージディスプレイをサイネージ用途として使う場合は、「X-Sign Player 2(XSign2)」アプリを起動してコンテンツ表示します。常にサイネージ用途として使う場合は、サイネージディスプレイの電源オン時に自動で「XSign2」アプリが起動するように設定するのをおすすめします。

サイネージのホーム画面で、リモコンを使って「X-Sign Player 2(XSign2)」アイコンを選択。

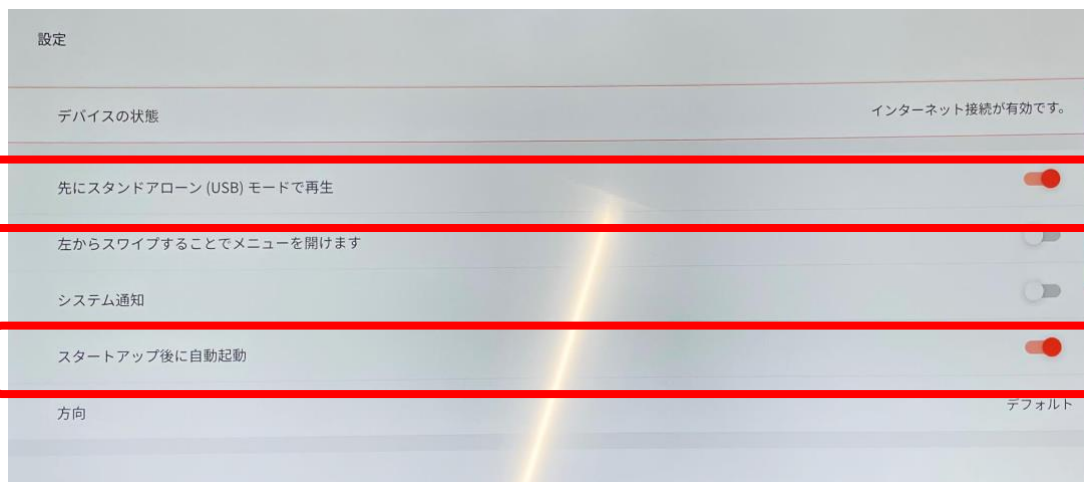


メニュー一覧より、「設定」を選択。

※メニュー一覧の表示は、「XSign2」プレイヤーアプリホーム画面時に、リモコンの「リスト」ボタンで表示できます。



「先にスタンドアローン(USB)モードで再生」と「スタートアップ後に自動起動」を有効化する。



サイネージコンテンツ配信の手順

<事前準備>

アプリのインストール

パソコンにX-Sign Designer アプリをインストールします。

BenQ X-Sign Designer アプリ ダウンロードページ

< <https://www.benq.com/ja-jp/business/signage/x-sign-20/download.html#tab-anchor> >

<Windows OS 用アプリ>

- X-Sign Designer _ Windows

<macOS 用アプリ>

- X-Sign Designer _ Mac



<コンテンツの作成>

- X-Sign Designer アプリでコンテンツを作成します。

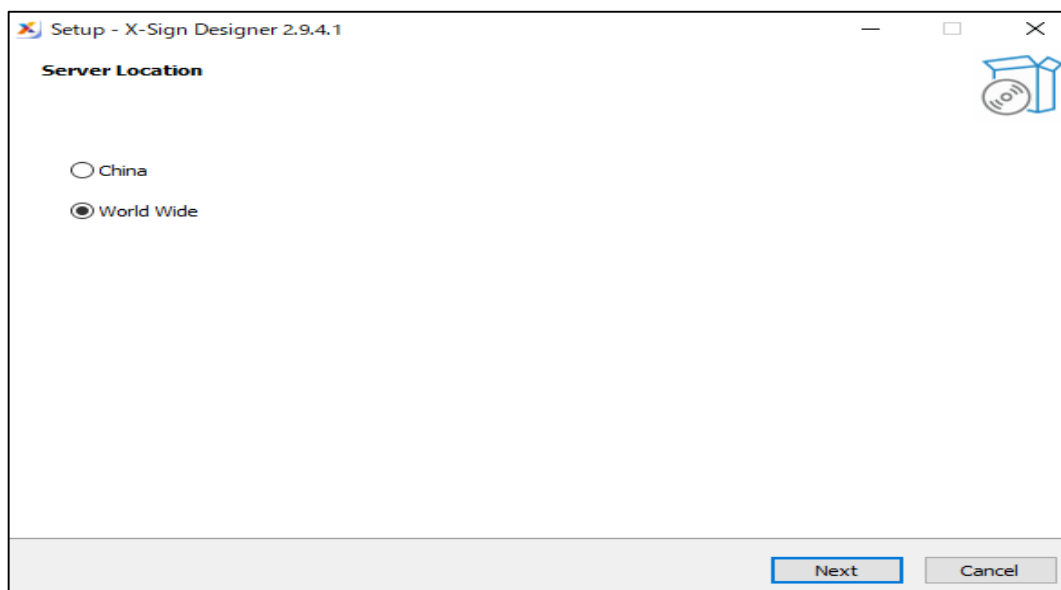
<コンテンツ配信の準備>

- X-Sign Designer アプリで配信の準備
 - USB配信
 - ローカル配信
 - Manager配信

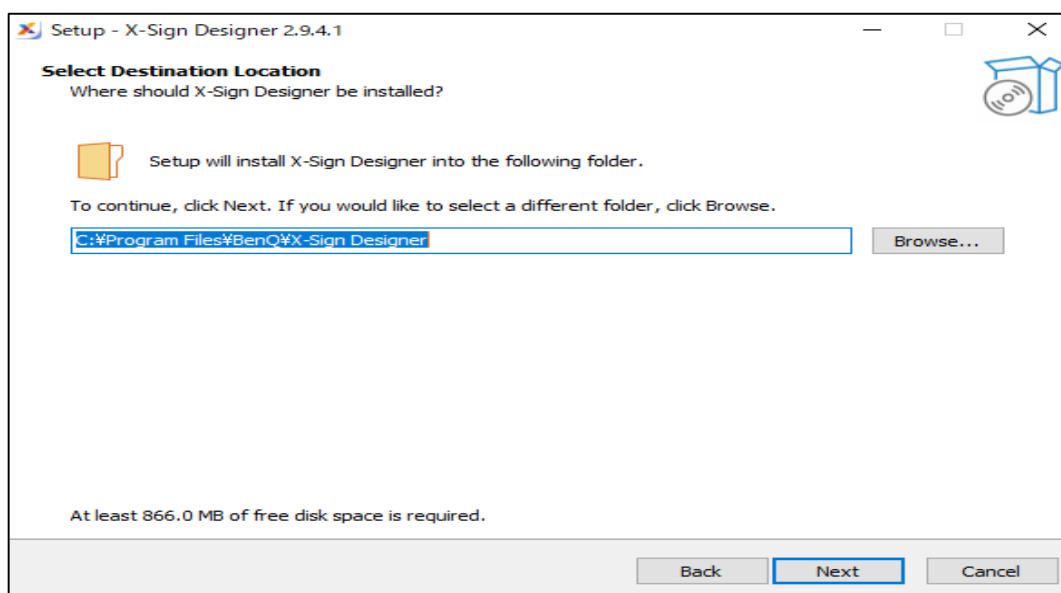
X-Sign Designer アプリをインストールをします。

X-sign Designer インストール手順 (Windows)

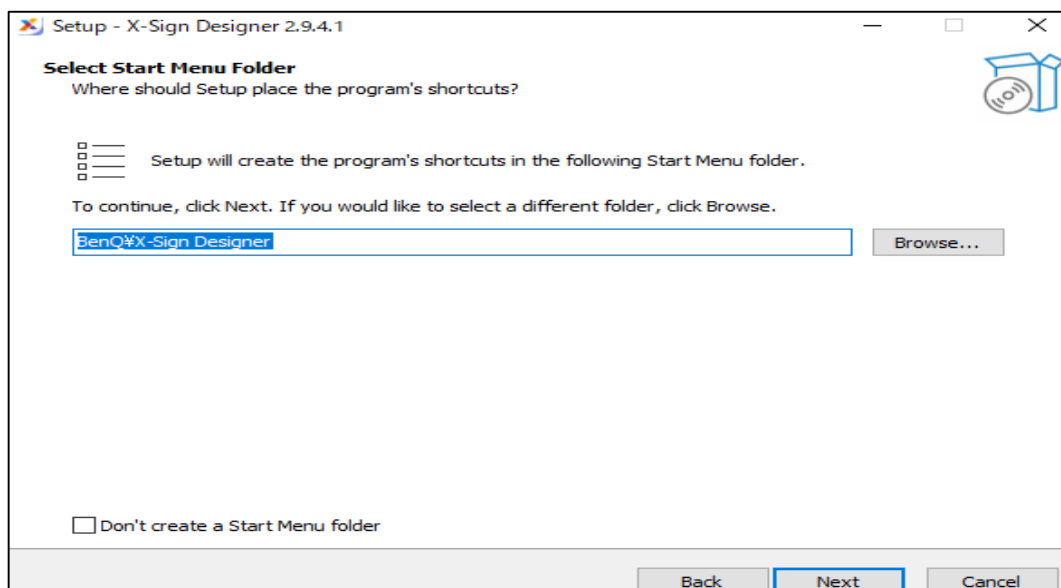
Server Locationの選択を「worldwide」に設定し「Next」を選択。



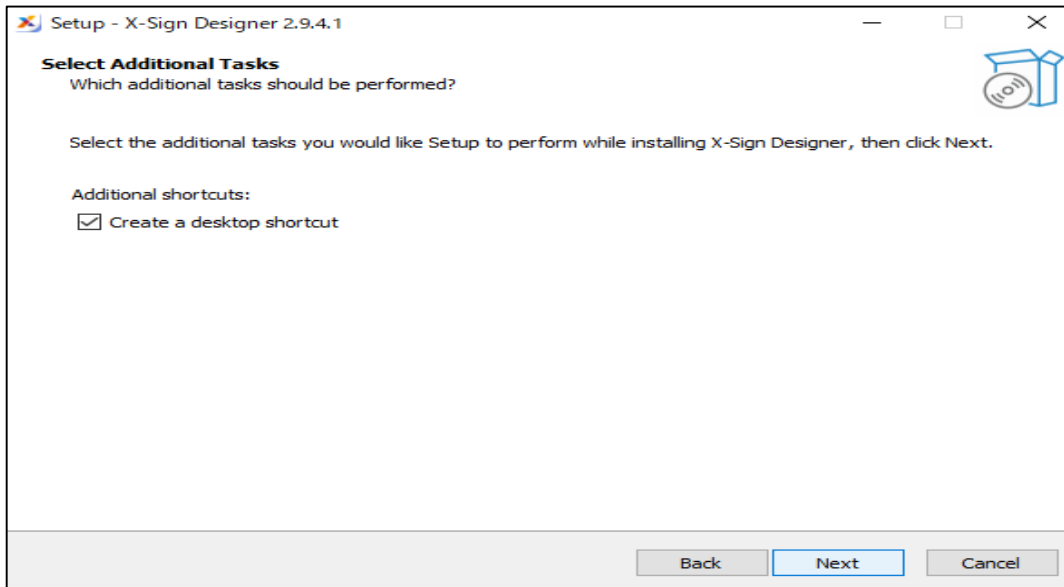
インストール先のフォルダを指定し「Next」を選択。



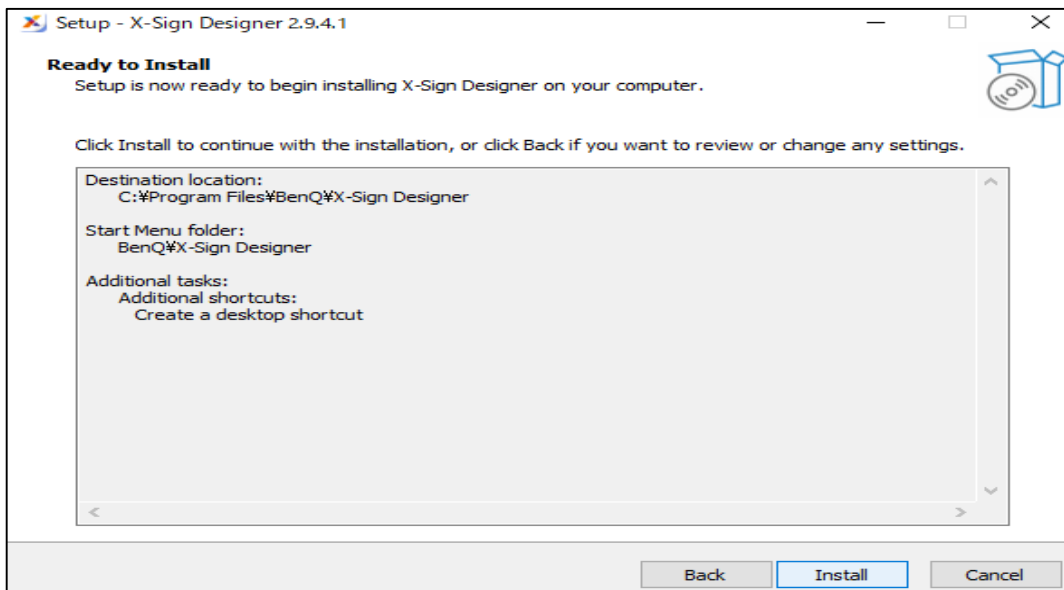
「Next」を選択。



デスクトップにショートカットを作成します。「Next」を選択。



「Install」を選択。

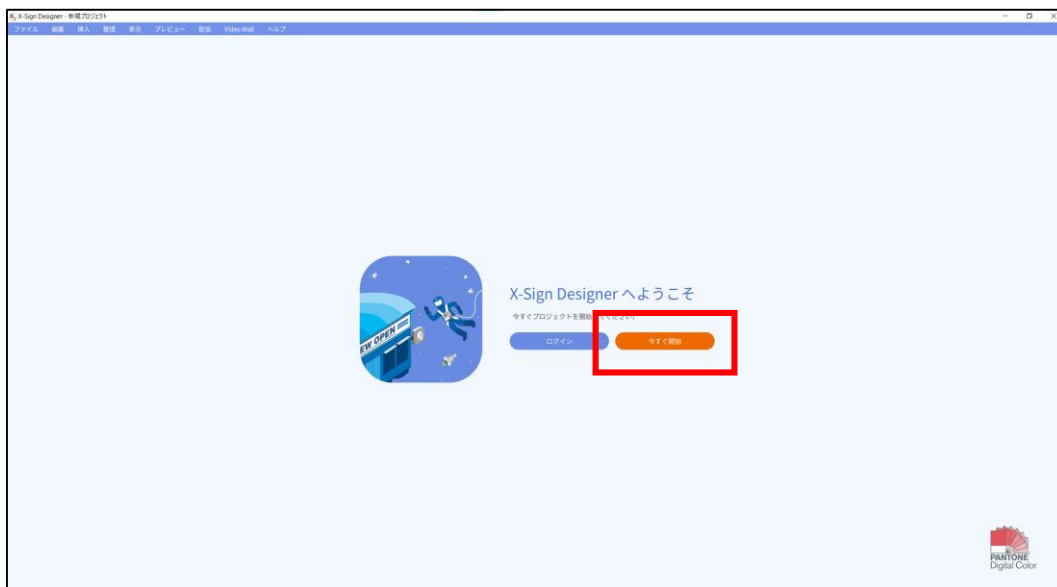


以上で、X-sign Designer アプリのインストールは完了です。

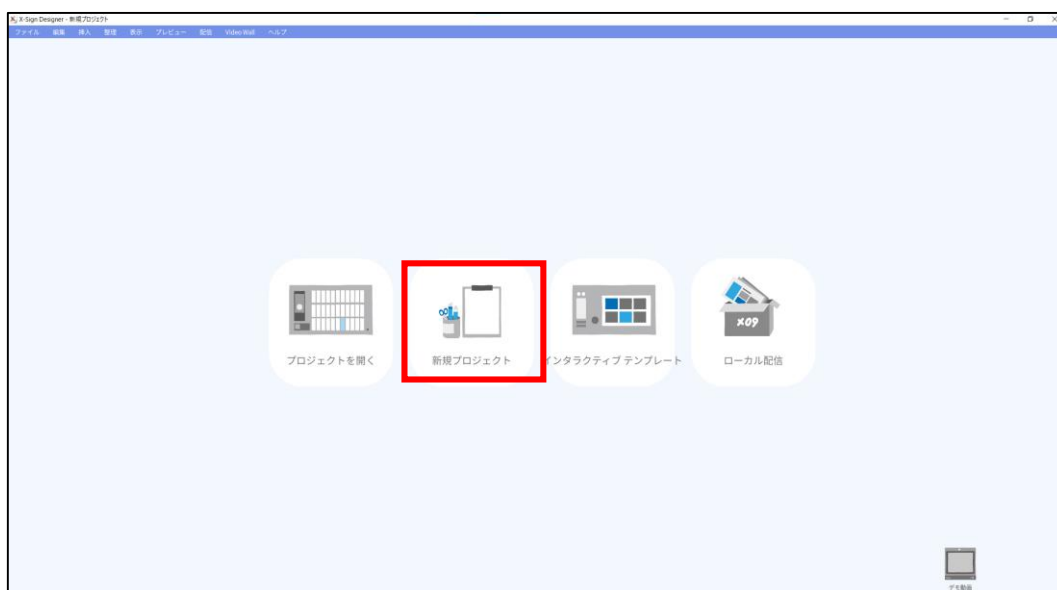
配信コンテンツの作成

パソコンにインストールした X-sign designer アプリを起動します。
アプリホーム画面で「今すぐ開始」を選択。

※有償版のManager配信の場合はこのホーム画面からもログインできますが、
「今すぐ開始」でコンテンツ作成している途中でもログインできます。
なお、ログイン時には別途作成したBenQアカウントとパスワードが必要です。



「新規プロジェクト」を選択。



<その他>

「プロジェクトを開く」:

新規プロジェクトを保存したのち、再度プロジェクトを編集する場合は「プロジェクトを開く」からファイルを選択して開いてください。

「インタラクティブ テンプレート」:

※サービス対象外の機能となります。

「ローカル配信」:

ローカル配信できます。(詳細はページ29参照)

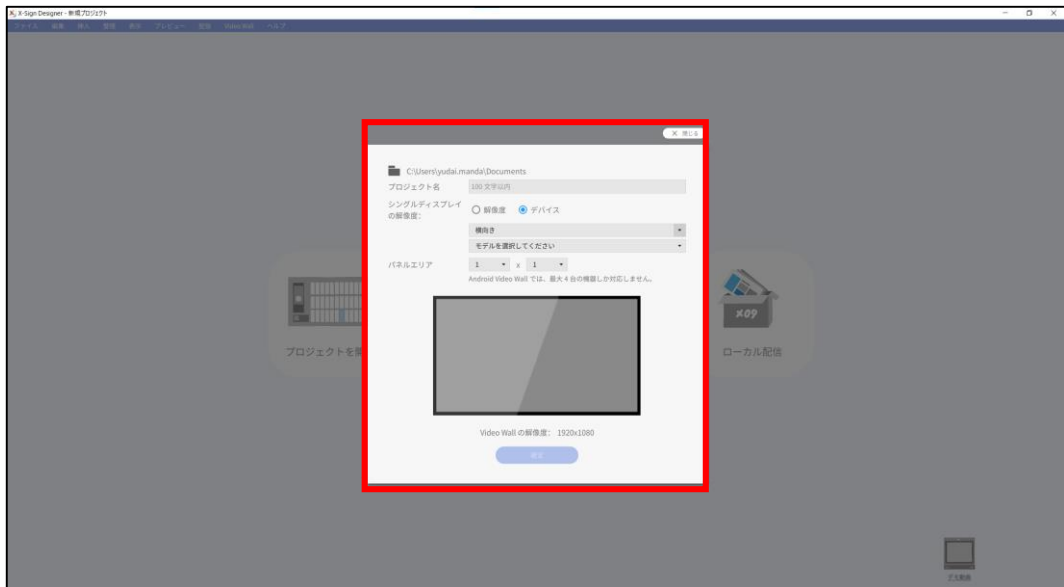
「プロジェクト名」にこれからコンテンツ作成を開始するプロジェクト名を入力。
「シングルディスプレイの解像度」で、コンテンツの向き(横向き・縦向き)と解像度を選択。

※解像度はデバイス名を選択しても設定できます。
デバイスリストに対象のデバイス名が無い場合は解像度を直接選択してください。

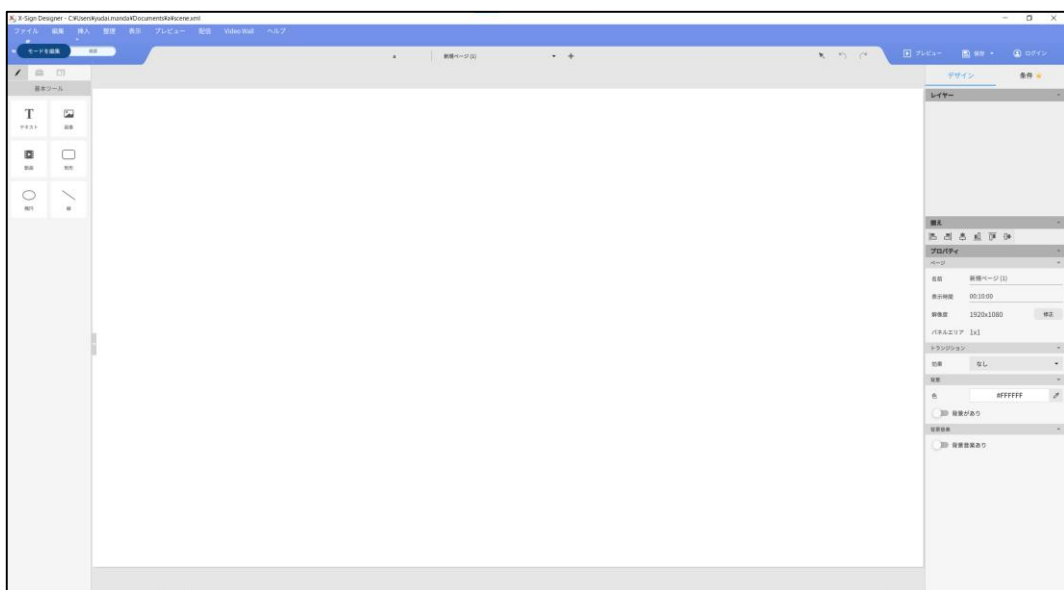
<参考>

ST5501Kは最大3840x2160

ST4302Sは最大1920x1080



コンテンツ作成画面に切り替わります。



～ コンテンツを作成する前に ～

X-Sign Designer ページとスライドについて

ページとは

サイネージディスプレイでは「ページ」を順に再生していきます。

「ページ」内に画像や動画を挿入したり、

ウィジェットと呼ばれるクロック(時計)や天気の情報などを挿入できます。

また、URLをQRコードに変換し、そのQRコードをページに挿入することもできます。



2022/11/10
04:04 PM

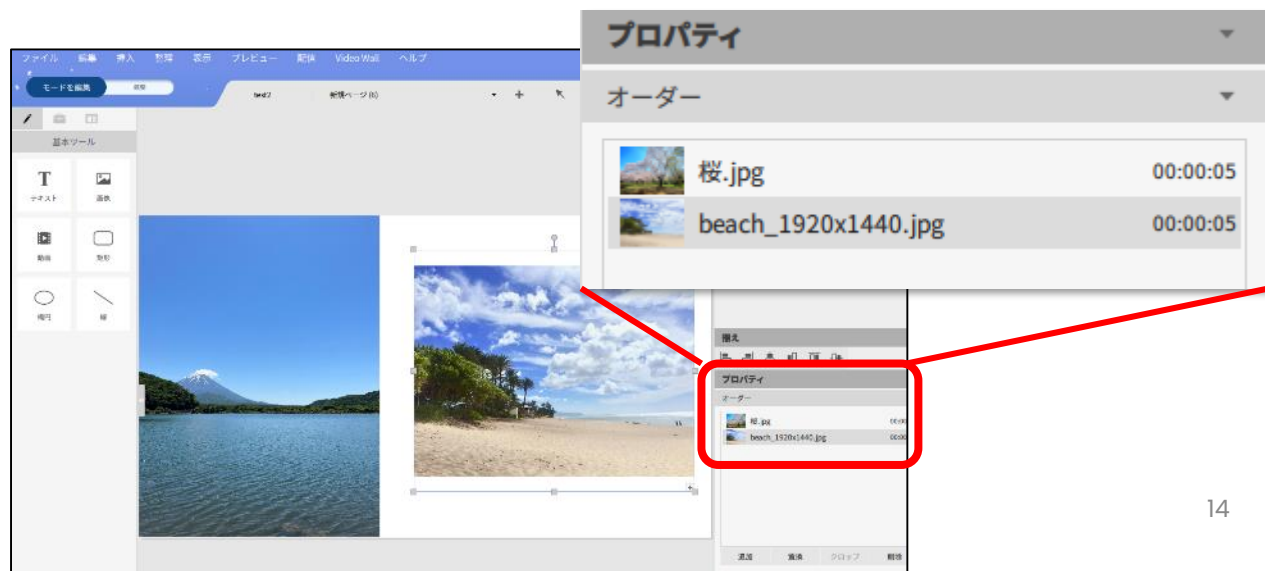
21°C
TOKYO



スライドとは

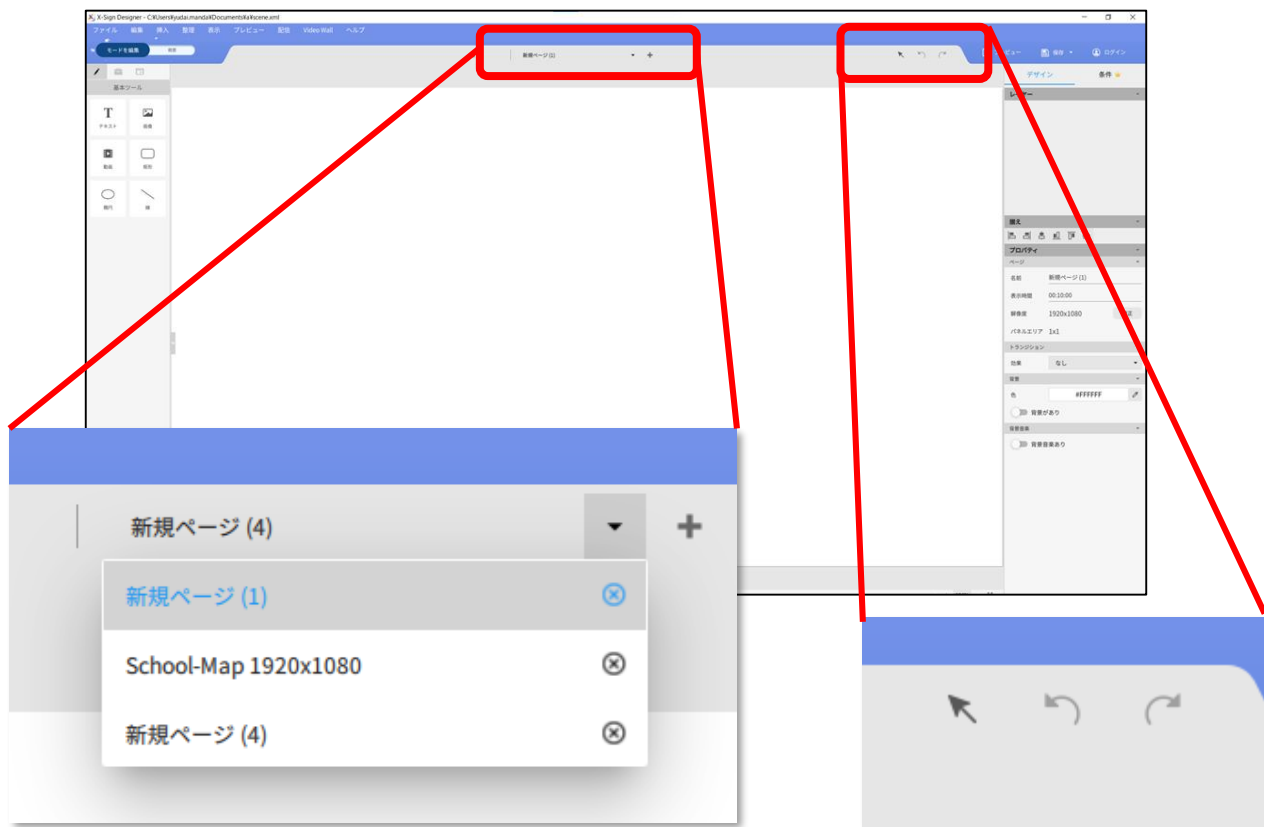
「ページ」内で「スライド」エリアを作り、その中で画像や動画を順に再生できます。スライドエリアはサイズを変更できるので、ページ内にスライドと天気ウィジェットを並べて表示するなどができます。

ページ内のスライドが全て再生され終わったら次のページの再生が始まります。



コンテンツ作成に使用する各機能の紹介

X-Sign Designer「ナビゲーションバー」

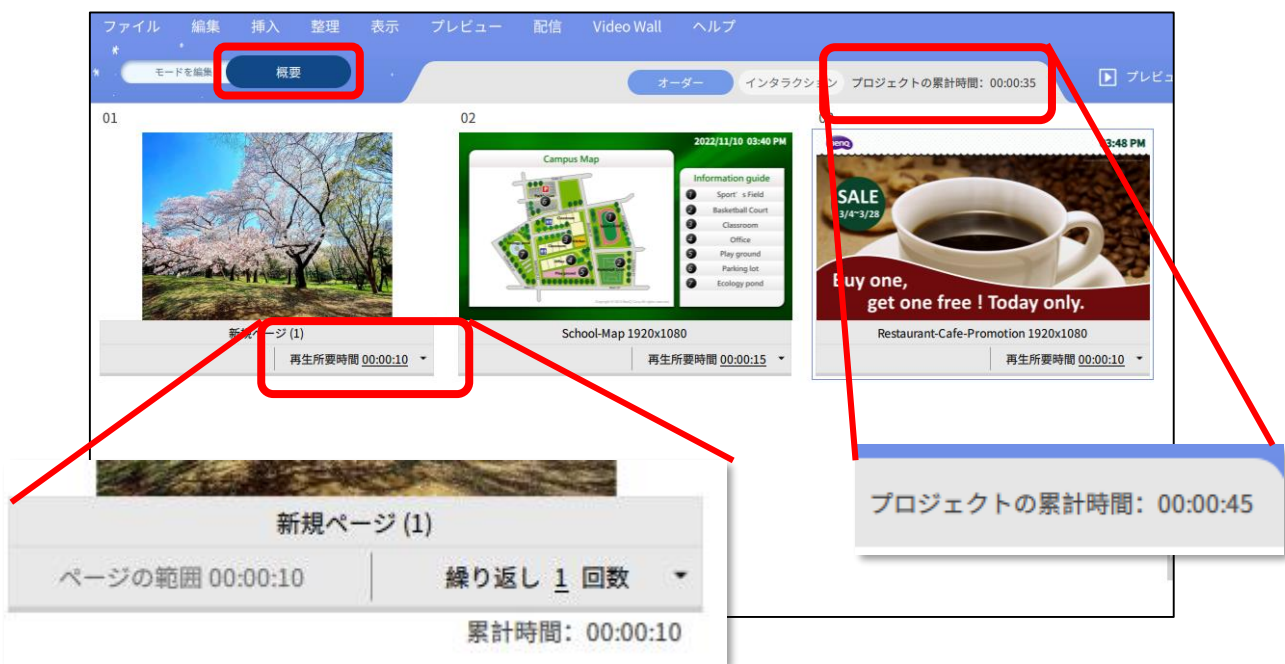


再生ページの追加や切り替えができます。

編集の動作を一つ前に戻す・進むことができます。

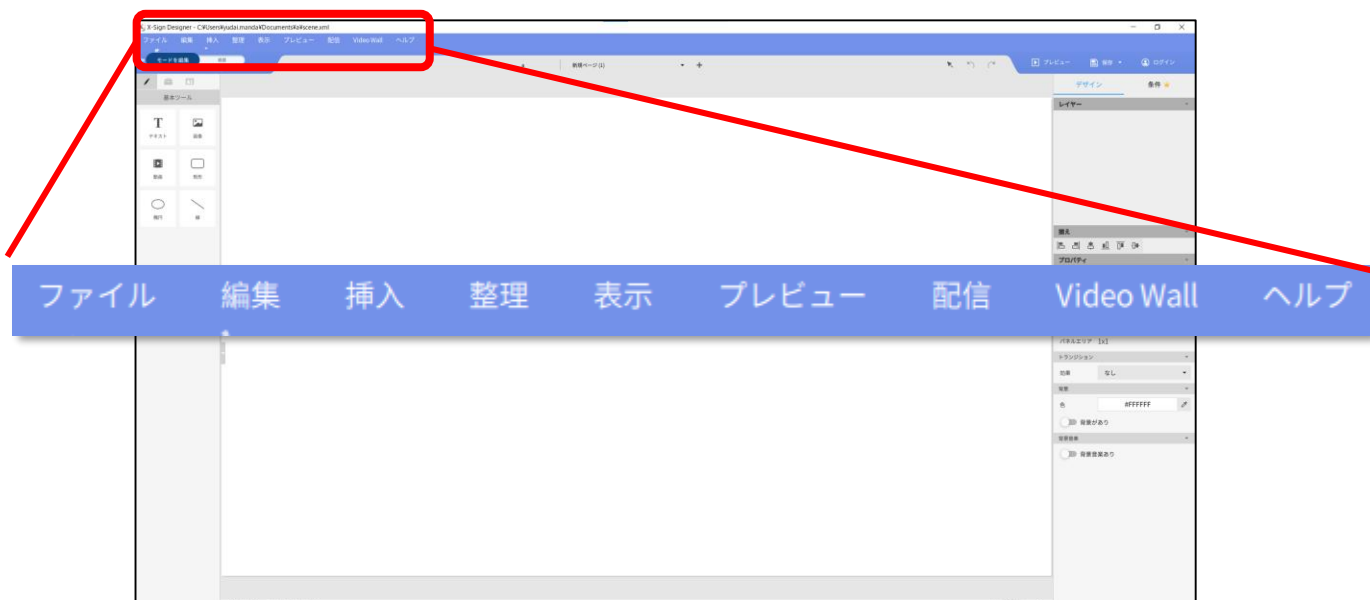
X-Sign Designer「概要」

配信時に再生表示されるページの順番の確認、変更ができます。
また、各ページの再生時間や繰り返し再生設定などができます。



※ 1 ページの再生時間で設定可能なのは10秒以上となります。
メディアスライドショー機能を使う場合は1スライド5秒以上となります。

X-Sign Designer「メニュー」



ファイル

新規プロジェクトの作成や保存、プロジェクトを開くなどができます。

編集

オブジェクトの切り取りやコピー、貼り付け、削除、選択ができます。

挿入

基本ツール（画像や動画など）、ウィジェット（クロックや天気など）、テンプレート（用途に合ったデザインテンプレート）、ページの挿入ができます。

整理

選択したオブジェクトのグループ化や前面、背面への移動などができます。

表示

編集画面の拡大・縮小や、ルーラー、グリッド線の表示ができます。

プレビュー

編集中のプロジェクトをプレビュー画面で確認できます。

配信

「ローカル配信」で同一ネットワーク環境下でコンテンツ配信、または「スタンドアロン配信（USB）」でUSBメモリ接続でコンテンツ配信ができます。

※ブラウザ経由のManager配信（有償版）は「ファイル」から作成したコンテンツをクラウドにアップロードして配信します。（詳細は35ページ参照）

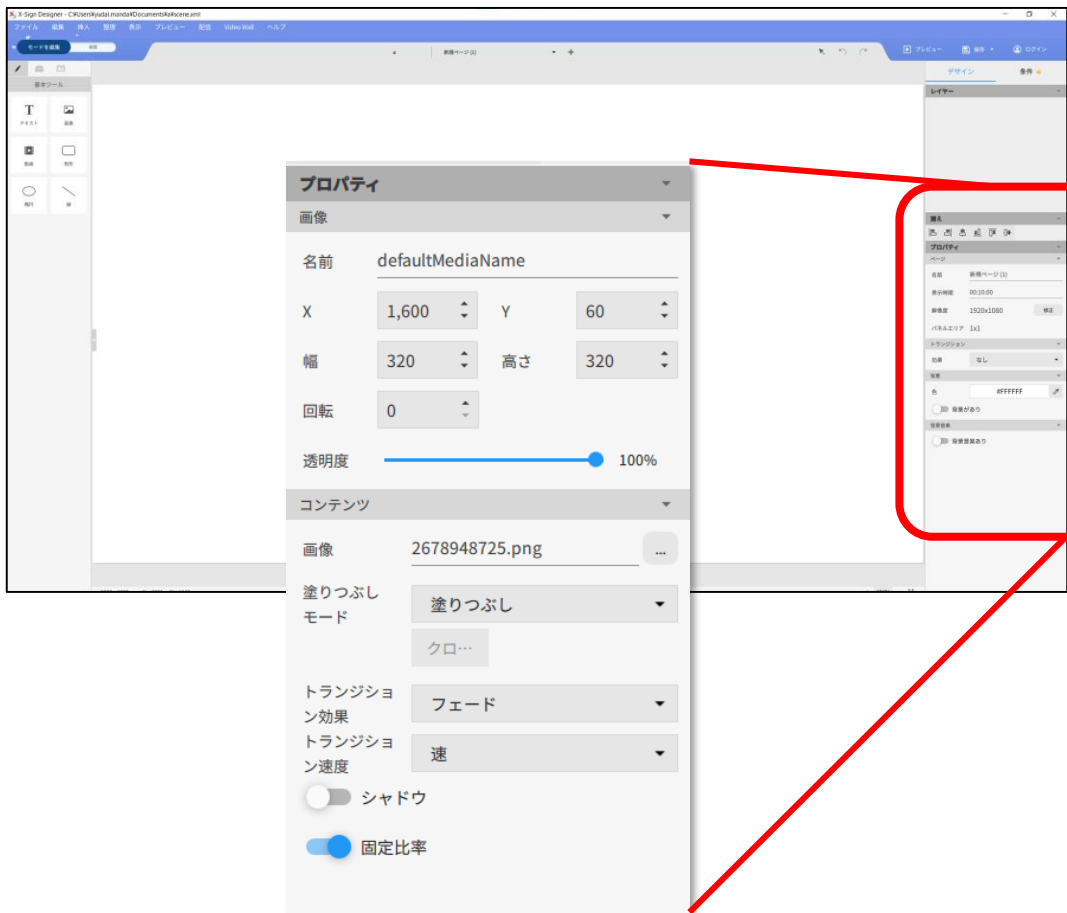
Video Wall

※サービス対象外の機能となります。

ヘルプ

X-Sign Designerアプリのバージョン情報、アップデート、言語の変更、サーバーの設定、ダウンロード先のフォルダの指定ができます。

X-Sign Designer「プロパティ」



プロパティ

選択したオブジェクトのプロパティの確認やそのオブジェクトの細かな編集・設定ができます。

<プロパティ機能の一例>

- 画像を選択している時

画像の位置やサイズ透明度などを調整できます。

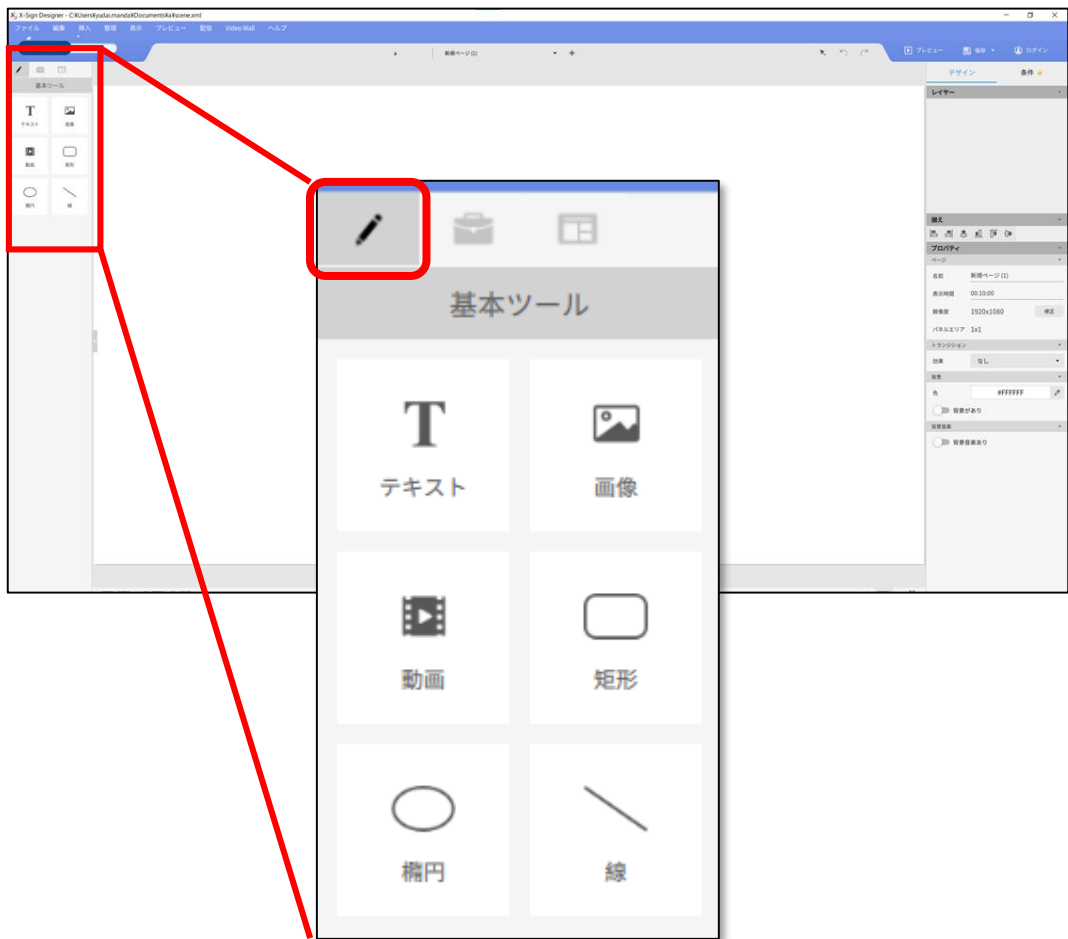
- 天気ウィジェットを選択している時

摂氏・華氏の切り替えやロケーションの手動設定などができます。

- メディアスライドショーを選択している時

表示する画像や動画の順番の変更や、切り替え時の効果などの設定ができます。

X-Sign Designer「基本ツール」



テキスト

テキストボックスを挿入します。

画像

画像を挿入します。

<対応形式> jpg、png、gif、bmp形式

動画

動画を挿入します。

<対応形式> mp4、avi、mov形式

短形

四角形の図形を挿入します。

※角を丸くしたい場合は、プロパティの「角の半径」から変更できます。

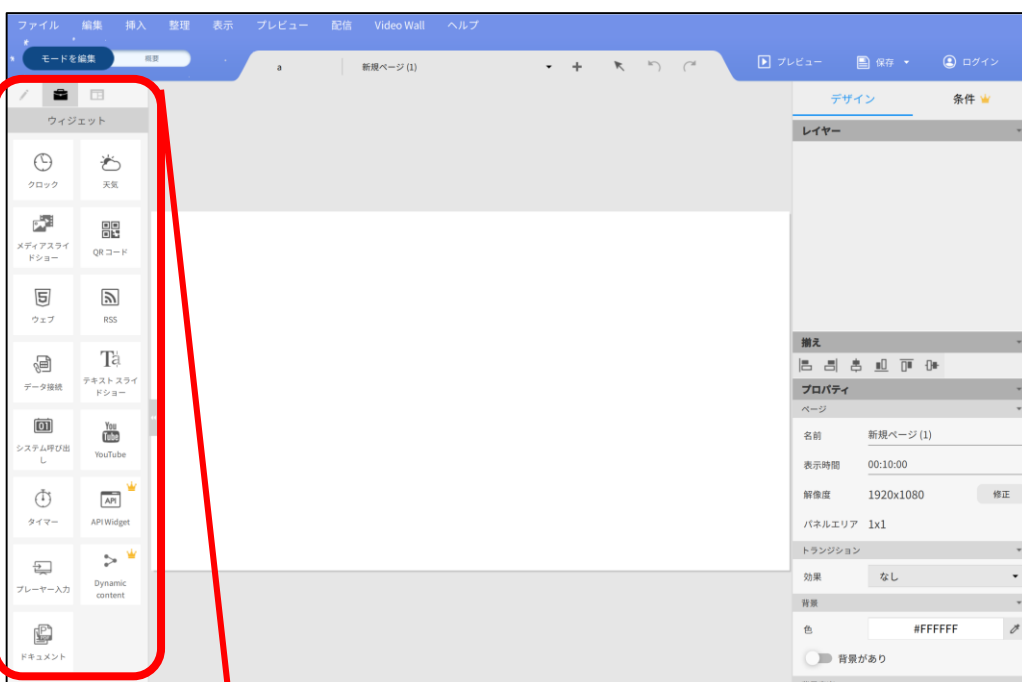
楕円

円を挿入します。

線

直線を挿入します。

X-Sign Designer「ウィジェット機能」(1/2)



クロック

コンテンツ内に時間を表示します。
※「プロパティ」で表示形式の変更ができます。

天気

コンテンツ内に各地の天気を表示します。
※「プロパティ」で所在地や表示名を変更ができます。

メディアスライドショー

1つのエリア内で複数の動画や画像を連続再生することができます。
※「プロパティ」で再生順番や切り替え時間の変更ができます。
※切り替え時間は5秒未満は設定できません。

QRコード

URLを挿入しQRコードを自動作成し、表示できます。

ウェブ

※サービス対象外の機能となります。

RSS

RSSで配信されているニュースを表示します。

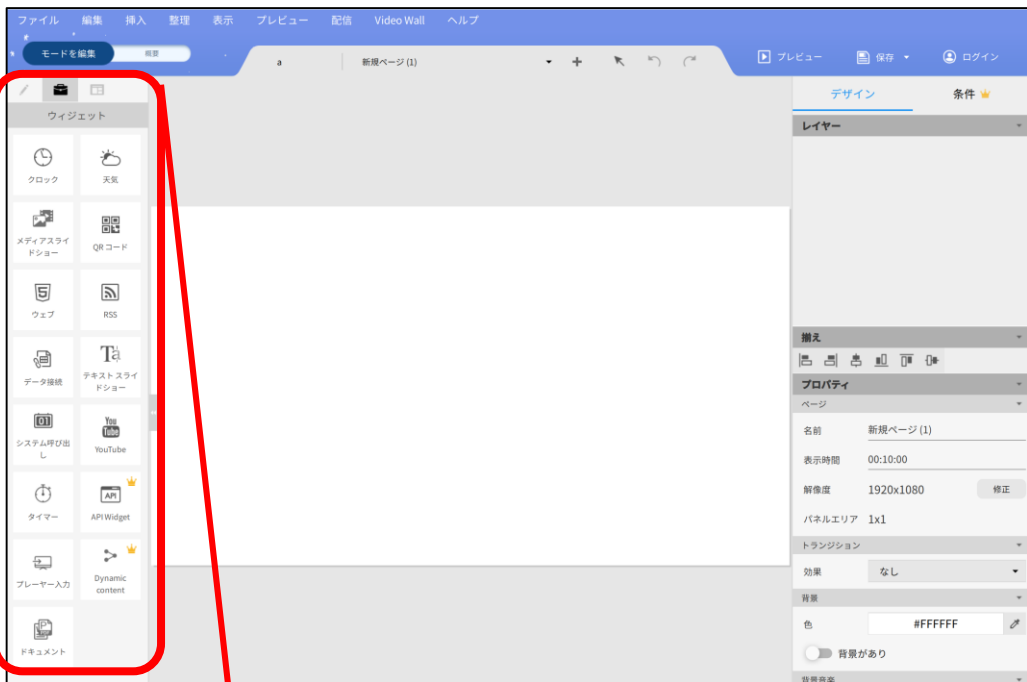
データ接続

※サービス対象外の機能となります。

テキストスライドショー

1つのエリア内で複数のテキストを連続再生することができます。
※「プロパティ」で再生順番や切り替え時間の変更ができます。
※切り替え時間は5秒未満は設定できません。

X-Sign Designer「ウィジェット機能」(2/2)



システム呼び出し

※サービス対象外の機能となります。

YouTube

指定したYouTubeリンクの動画を再生します。

タイマー

開始時間と終了時間を指定し、カウントダウンを設定します。

※指定時間は30分単位となります。

API Widget

※サービス対象外の機能となります。

プレイヤー入力

プレイヤー入力エリアをページ内に挿入すると、そのエリアに外部ソースを表示できます。

※コンテンツ配信時に外部ソースがサイネージに接続されている必要があります。

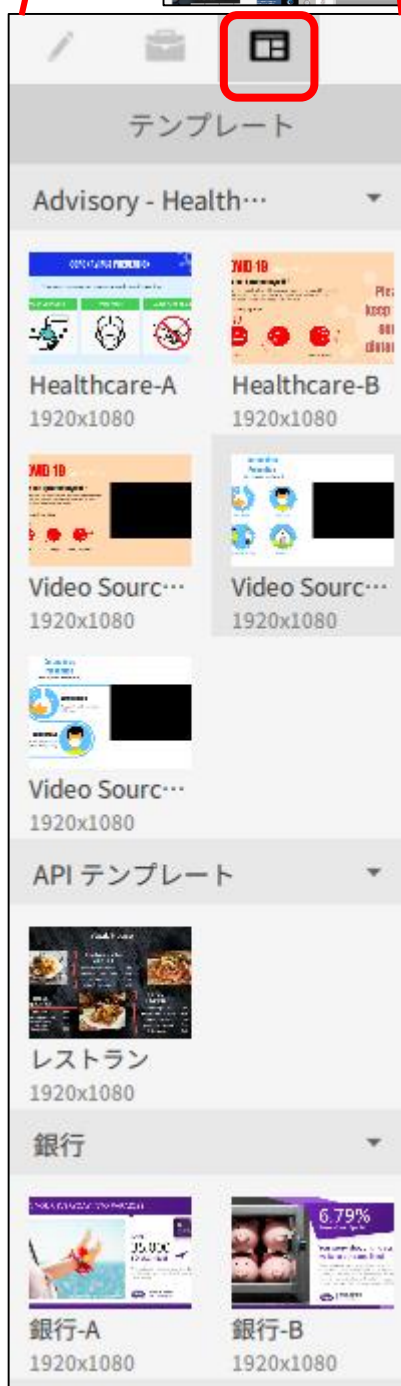
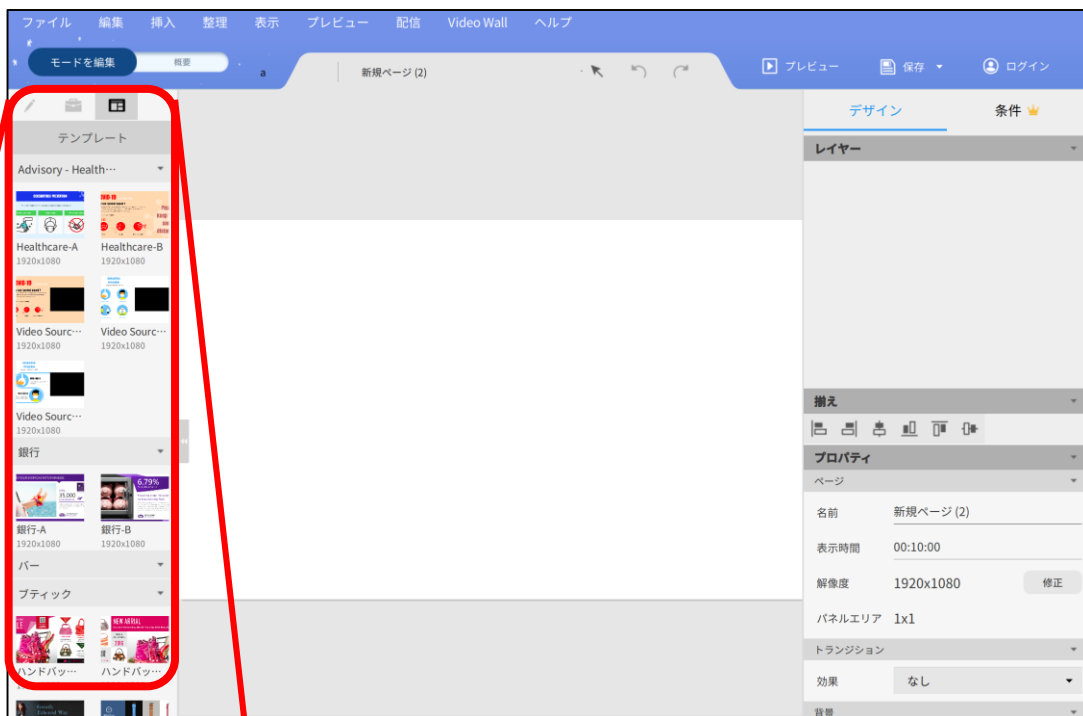
Dynamic content

※サービス対象外の機能となります。

ドキュメント

PowerPoint、PDFなどを画像に変換して挿入します。複数ページある場合はメディアショー機能で挿入されます。

X-Sign Designer「テンプレート機能」



シーンにあったテンプレートを活用することでコンテンツを一から作成しなくても、構成を変えるだけで作成できます。

テンプレートデザインの選定

活用したいテンプレートにカーソルをあてると、テンプレートのイメージが確認できます。

テンプレートをページに挿入

テンプレートをクリックすると、プロジェクト内の新しいページに挿入されます。

ページの編集

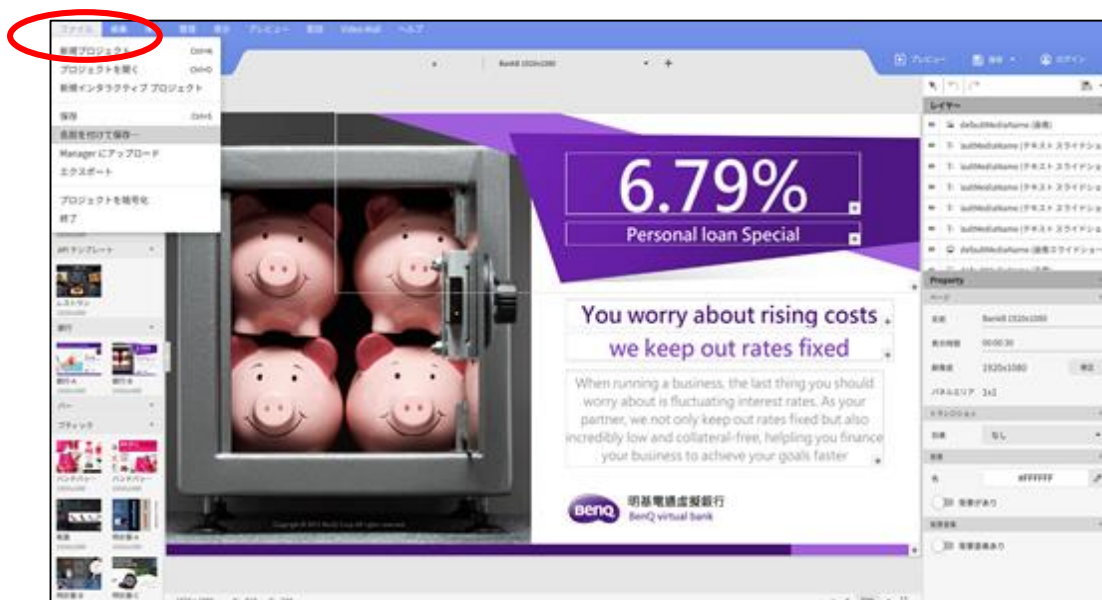
ページに追加されたテンプレートデザインのオブジェクトをダブルクリックして編集、またはオブジェクトを選択して「プロパティ」エリアで編集できます。

※テンプレート自体は編集または追加はできません。独自でテンプレートデザインを作りたい場合は、プロジェクトを保存し、X-Sign Designerファイル自体をテンプレートとして代替ください。

配信用にコンテンツを保存

X-Sign Designerでコンテンツを作成したら、
ファイルで「保存または名前をつけて保存」を選択し、
コンテンツを保存します。

※コンテンツを保存しないと、配信設定時にファイルを選択できないのでご注意ください。



3つの配信方法

「USB配信」

- USBメモリを接続した状態で配信します。
- 0時から24時の間で配信スケジュールを複数設定できます。

「ローカル配信」

- 同一ネットワークでコンテンツの配信設定ができます。
- 0時から24時の間で配信スケジュールを複数設定できます。

「Manager配信」(有償版)

- ブラウザ経由でコンテンツの配信設定ができます。
- カレンダーで日付や曜日、時間毎に異なるコンテンツを複数予約設定できます。

活用例：

パソコン上で①午前のコンテンツ、②昼休みのコンテンツ、③午後のコンテンツと3つのコンテンツを作成し、配信時間を設定します。

朝、サイネージの電源を入れると3つのコンテンツが設定した時間通りに配信されます。夕方にサイネージの電源をオフにして終了。翌日も同じく朝に電源を入れれば同じく設定されたコンテンツが配信されます。

※サイネージ本体の「XSing2」プレイヤーアプリの設定で、サイネージの電源を入れた際に「XSign2」プレイヤーアプリを自動で起動する設定にしてください。

※サイネージ本体の「XSing2」プレイヤーアプリの設定で、配信したい「モード」を正しく設定してください。

USB配信

USB配信用にコンテンツを保存

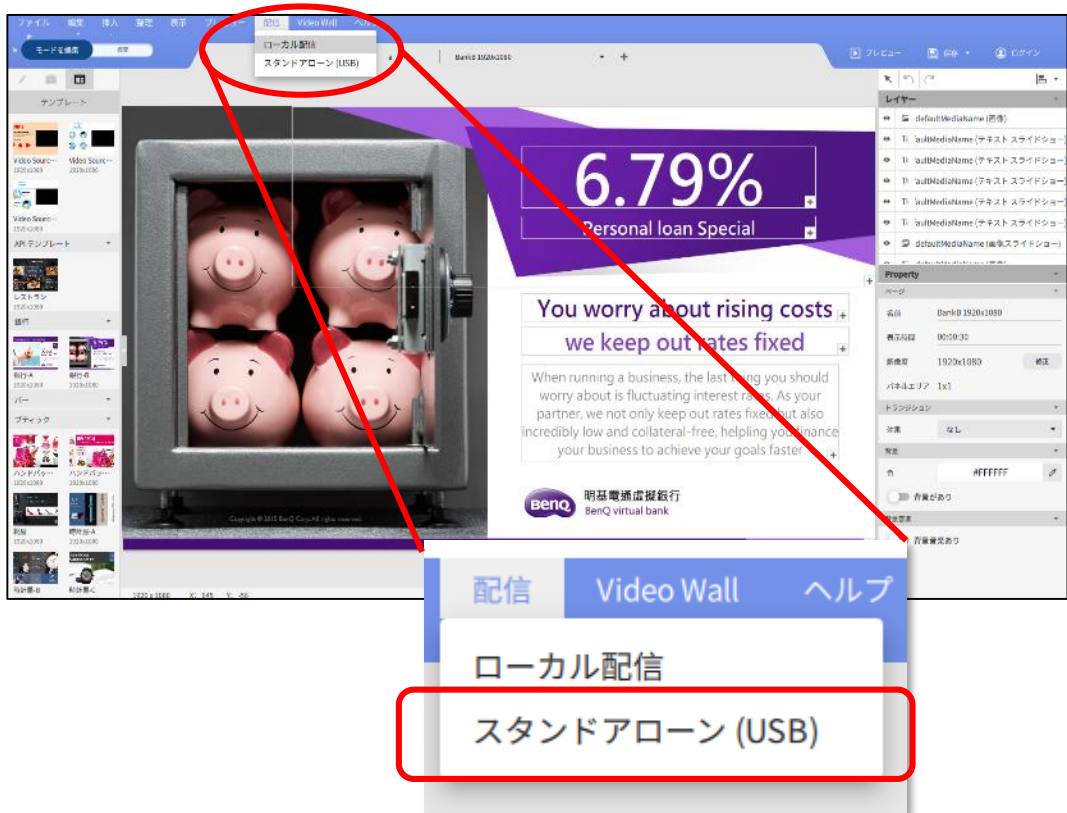
使用するUSBメモリのフォーマット形式について

USBメモリのフォーマットはFAT32形式のみ対応です。

コンテンツをUSBメモリに保存する前に、フォーマットをご確認ください。

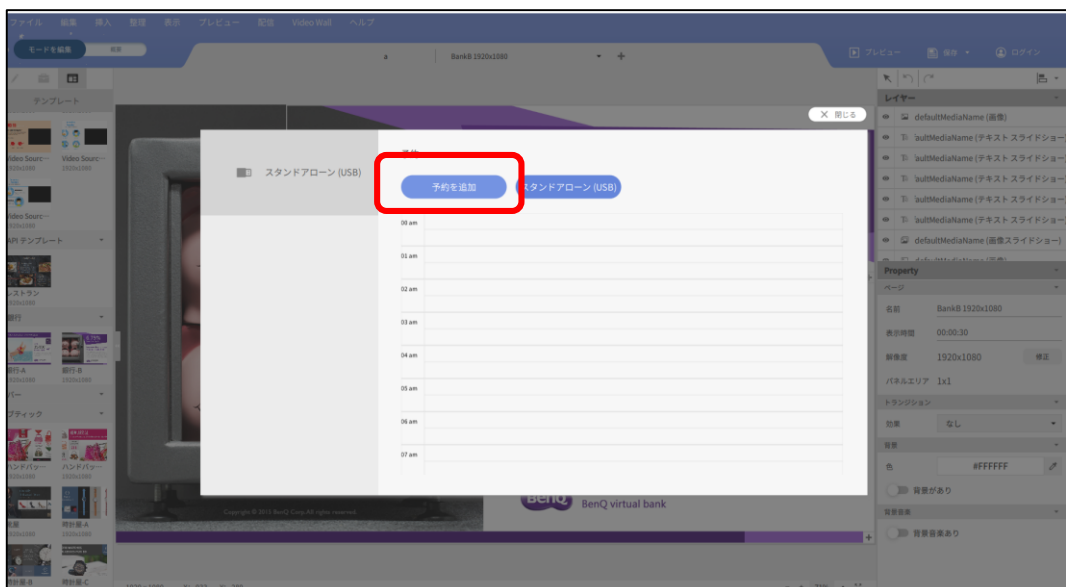
※FAT32の仕様上、64GB容量以上のUSBメモリをフォーマットする場合は、有効を32GBにしてフォーマットしてください。

「配信」で「スタンドアローン (USB)」を選択



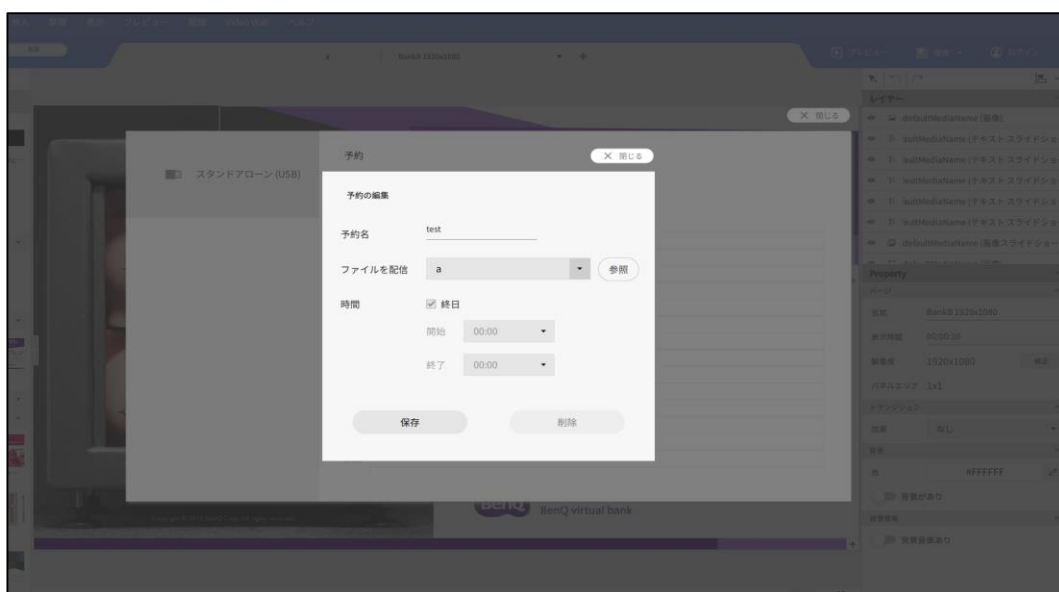
「予約を追加」を選択

※前回の予約設定が残っている場合はダブルクリックして削除してください。

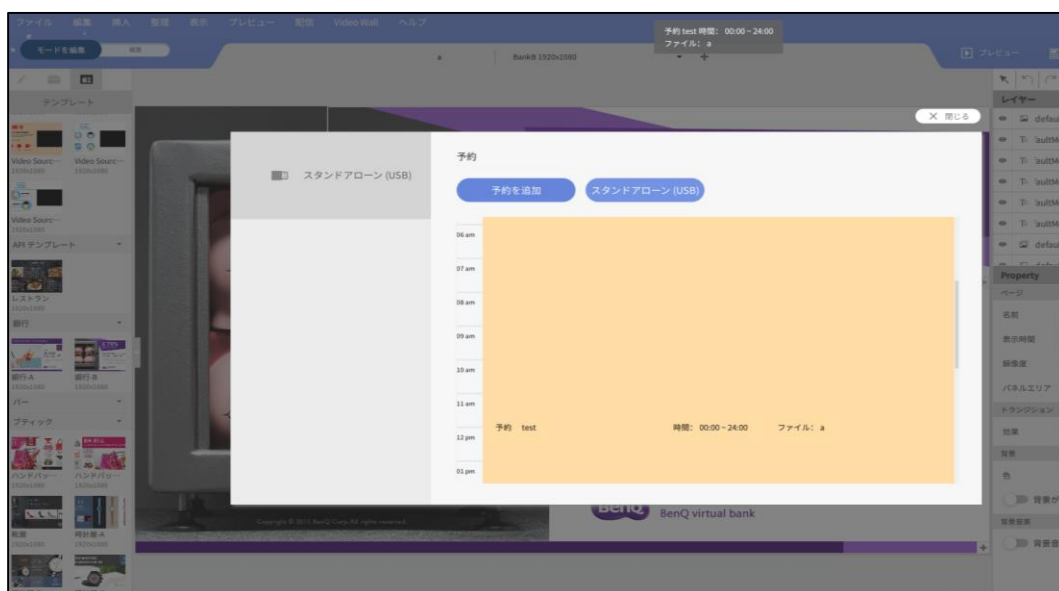


「予約名」を入力、「ファイルを配信」で保存または名前を付けて保存したコンテンツを選択し、「コンテンツの再生時間」を設定後、保存。

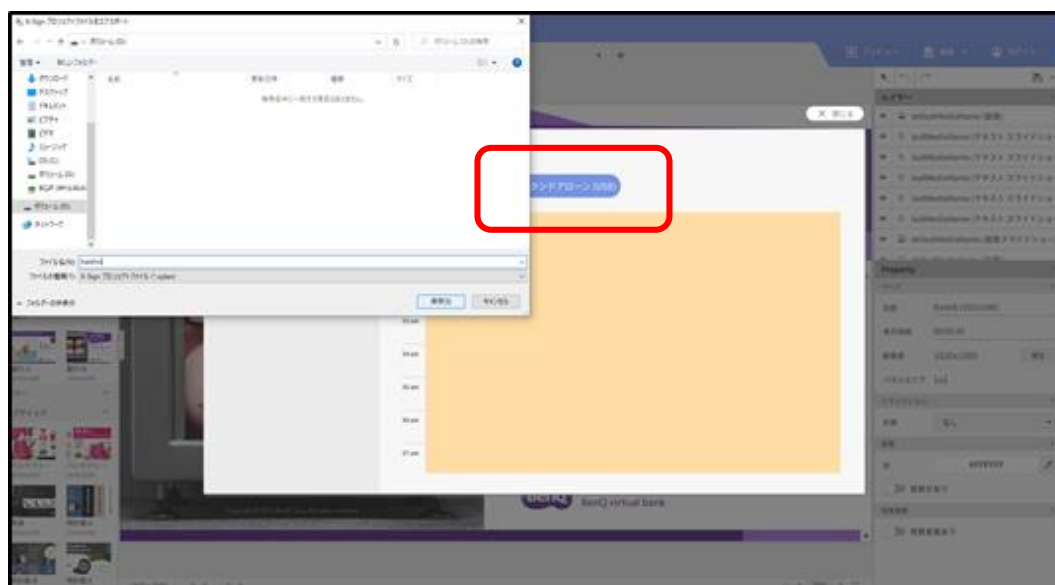
※作成中のコンテンツは保存していないと選択画面に表示されないため、配信準備前に保存してください。



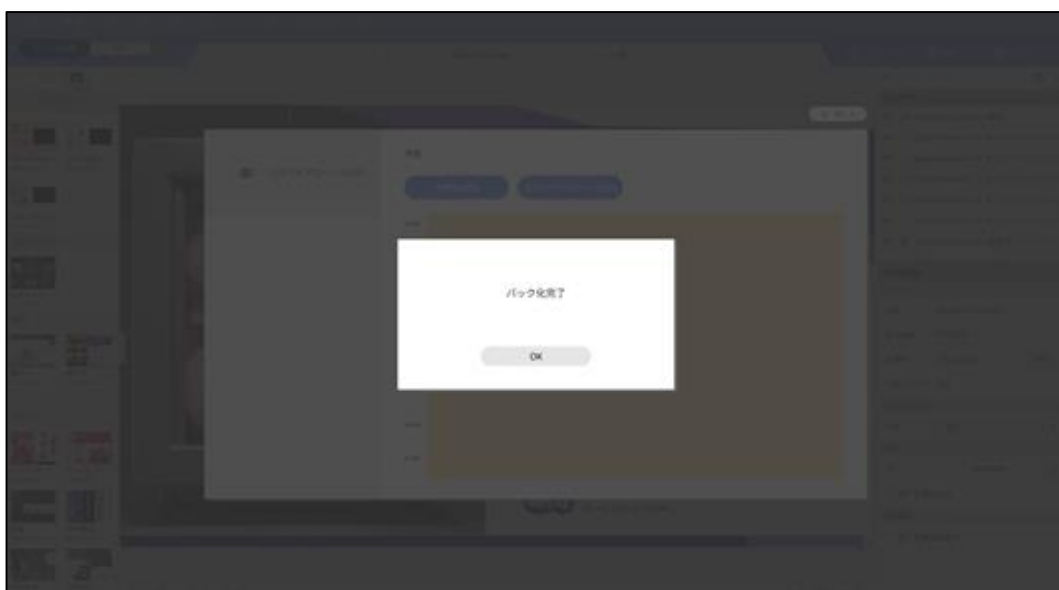
予約が完了するとタイムテーブルに予約名と時間が表示されます



USBメモリを挿入した後、「スタンドアローン (USB)」を選択し、保存したいUSBメモリを参照、ファイル名をつけて保存。



USBメモリへ保存が終わると「バック化完了」と表示されます。
USBメモリを取り外します。



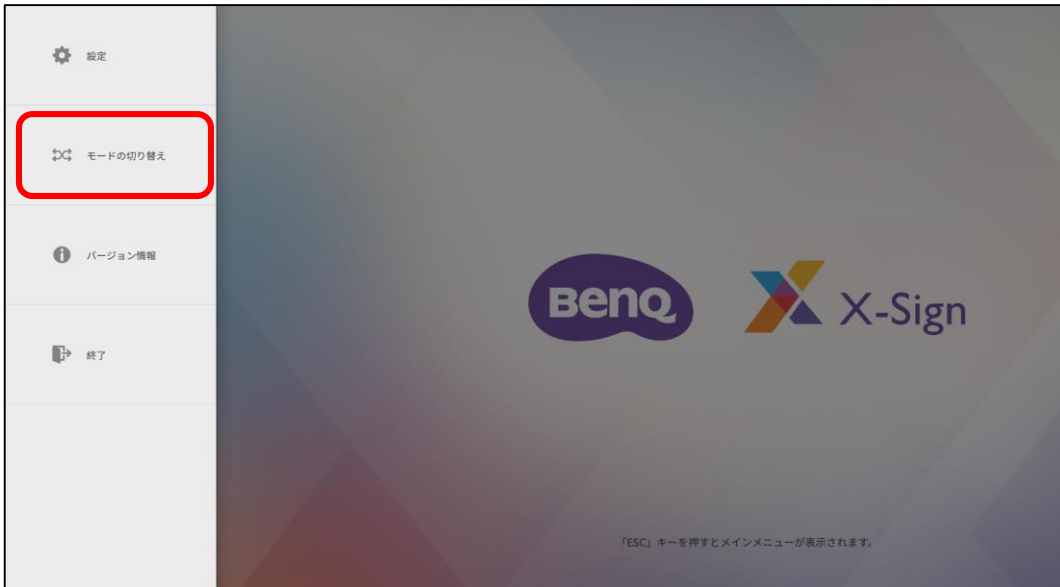
次に、サイネージ本体のモードを「USB配信」に切り替えます。

サイネージのホーム画面で、リモコンを使って
「X-Sign Player 2(XSign2)」アイコンを選択。



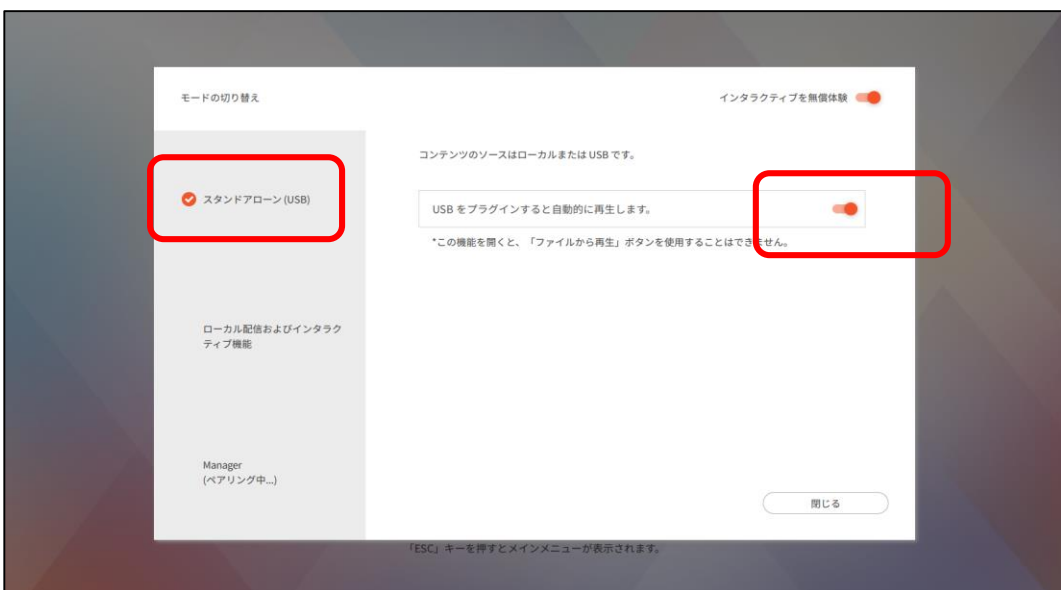
メニュー一覧より、「モードの切り替え」を選択。

※メニュー一覧の表示は、「XSign2」プレイヤーアプリホーム画面時に、リモコンの「リスト」ボタンで表示できます。



「スタンドアローン (USB)」モードを選択。

「USBをプラグインすると自動的に再生します。」を有効。



※「USBをプラグインすると自動的に再生します。」を有効にしないと、USBメモリを挿入しても再生されませんのでご注意ください。

USBメモリをサイネージに挿入すると作成したコンテンツが表示されます



<参考> USBプラグインプレイ 簡易配信

X-Sign Designerでコンテンツ作成をなくとも
画像や動画を配信することができます。

USBメモリに画像や動画を直接保存し、サイネージディスプレイに挿
入してX-Sign Playerで再生します。

再生の順番

- 画像や動画のファイル名順に再生されます。

再生の時間

- 画像の場合、再生時間は5秒固定です。
- 動画は動画再生時間が終われば次の画像か動画へ移ります。

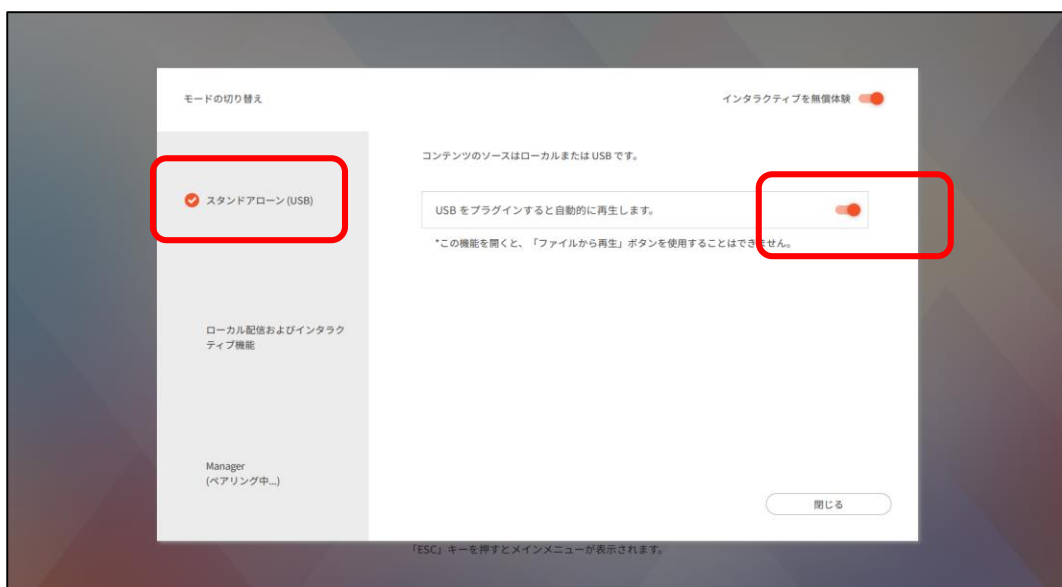
※画像は最大25枚まで対応です。

※USBメモリのフォーマットはFAT32のみ対応です。

※ X-Sign Designerでコンテンツ作成した場合は、再生の順番や時間をカスタマイズでき
ます。

※ USBメモリの中に、X-Sign Designerで作成したコンテンツと画像、動画が混在してい
る場合は、X-Sign Designerで作成したコンテンツのみが再生されます。

USB簡易配信の場合でも、
サイネージディスプレイのX-Sign Playerで、「スタンドアローン
(USB)」モードを選択し、「USBをプラグインすると自動的に再生しま
す。」を有効にしてください。

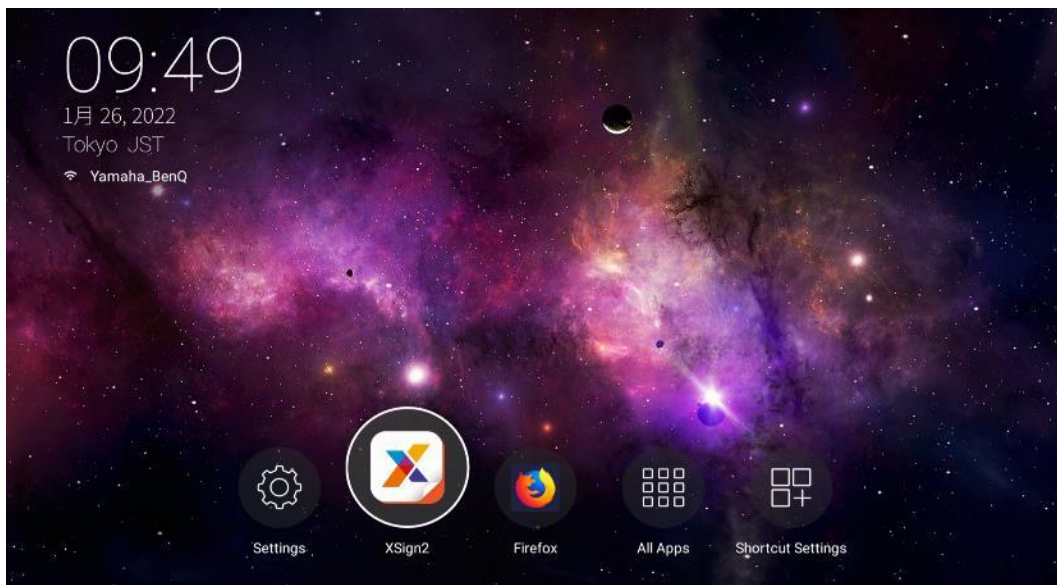


※「USBをプラグインすると自動的に再生します。」を有効にしないと、USBメモ
リを挿入しても再生されませんのでご注意ください。

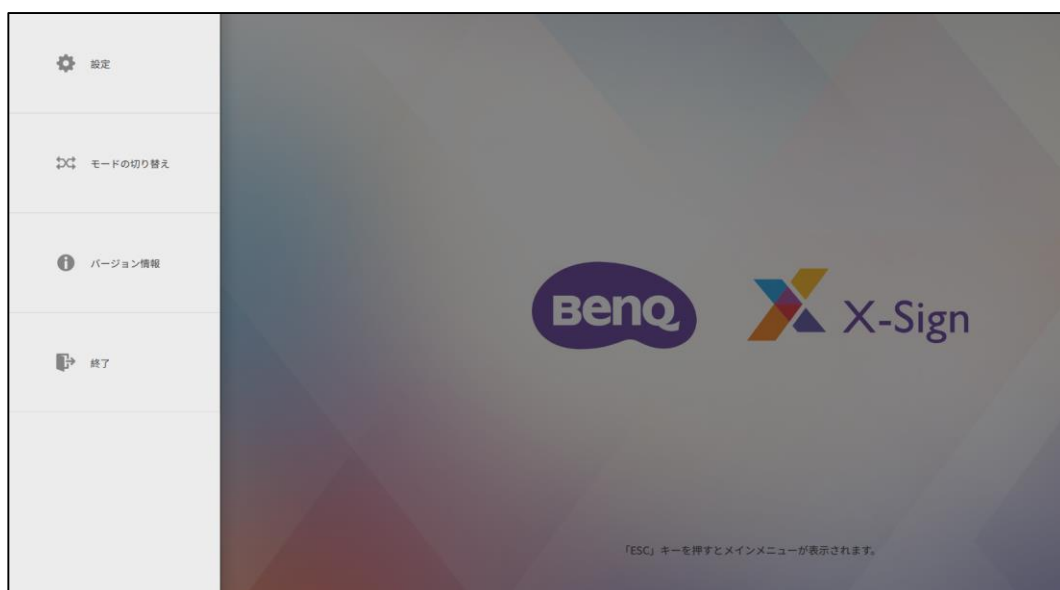
ローカル配信

サインージのモードを「ローカル配信」に切り替えます。

サインージのホーム画面で、リモコンを使って「X-Sign Player 2(XSign2)」アイコンを選択。



メニュー一覧より、「モードの切り替え」を選択

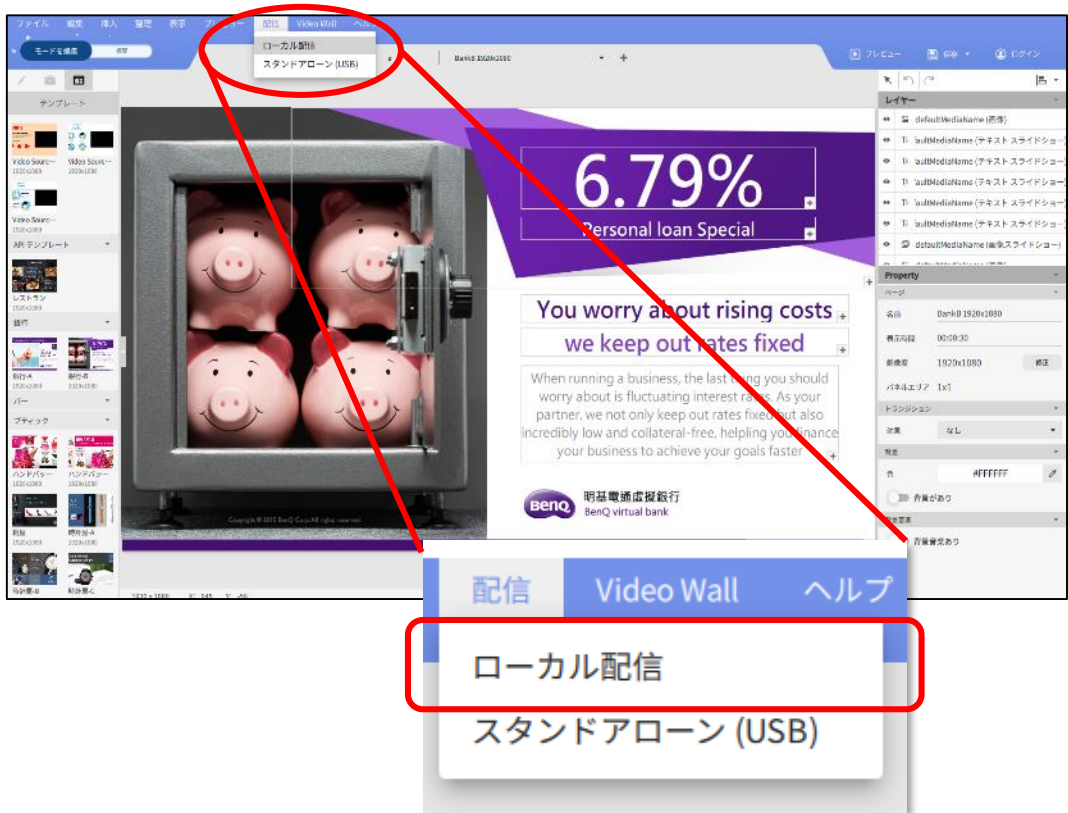


「ローカル配信」モードを選択

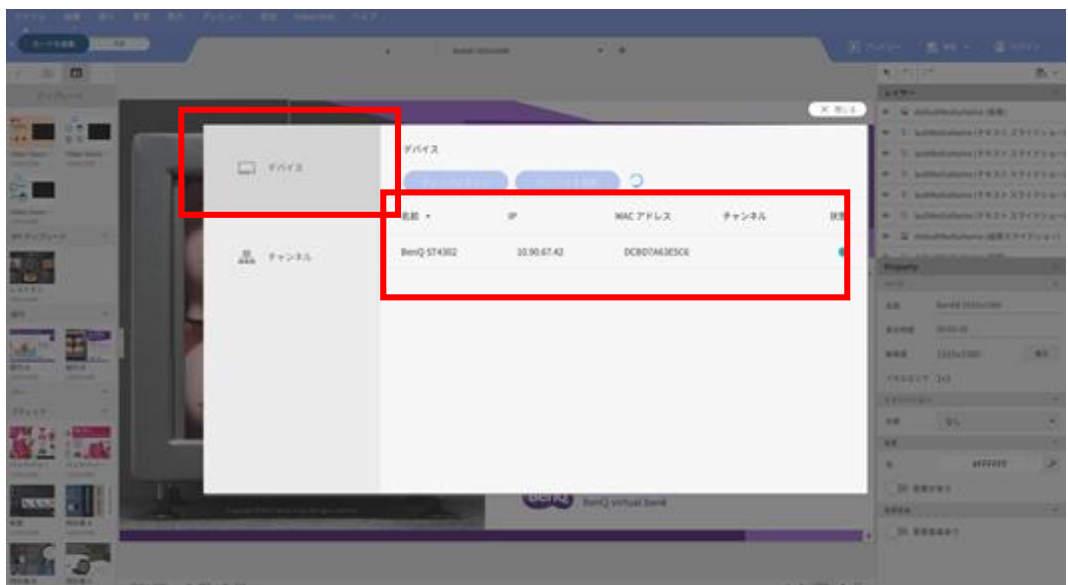


次に、ローカル配信用にコンテンツを保存します。

パソコンのX-Sign Designer アプリで作成したコンテンツを「配信」から「ローカル配信」を選択



「デバイス」で同一ネットワークにサイネージディスプレイが表示されるか確認します



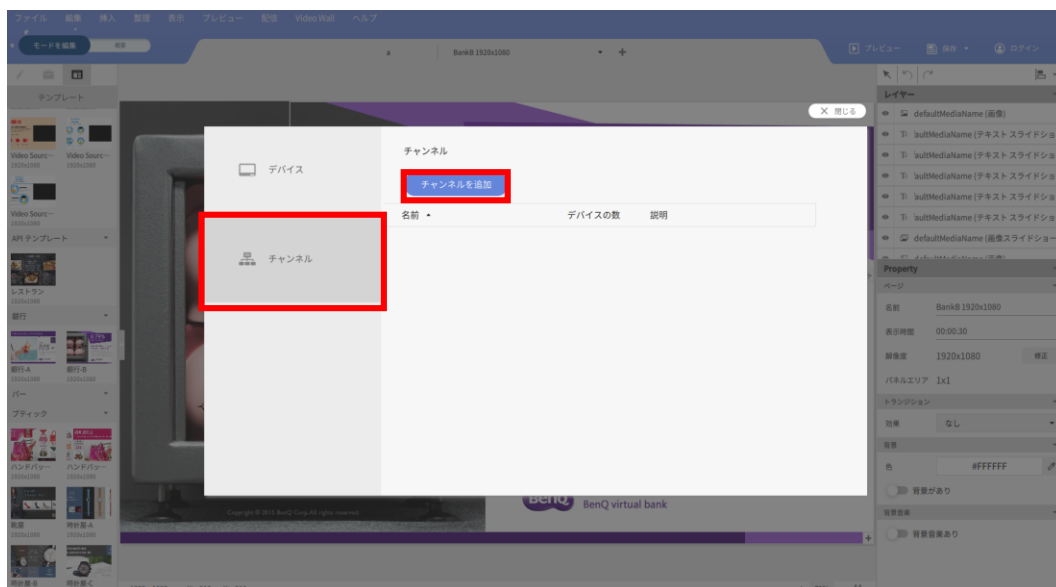
次に「チャンネル」を設定します。

「チャンネル」とは

ローカル配信は、コンテンツ配信する際にデバイスをグループ化できます。そのグループを「チャンネル」と呼びます。複数チャンネル設定すれば、チャンネルごとに異なるコンテンツや配信時間を設定できます。

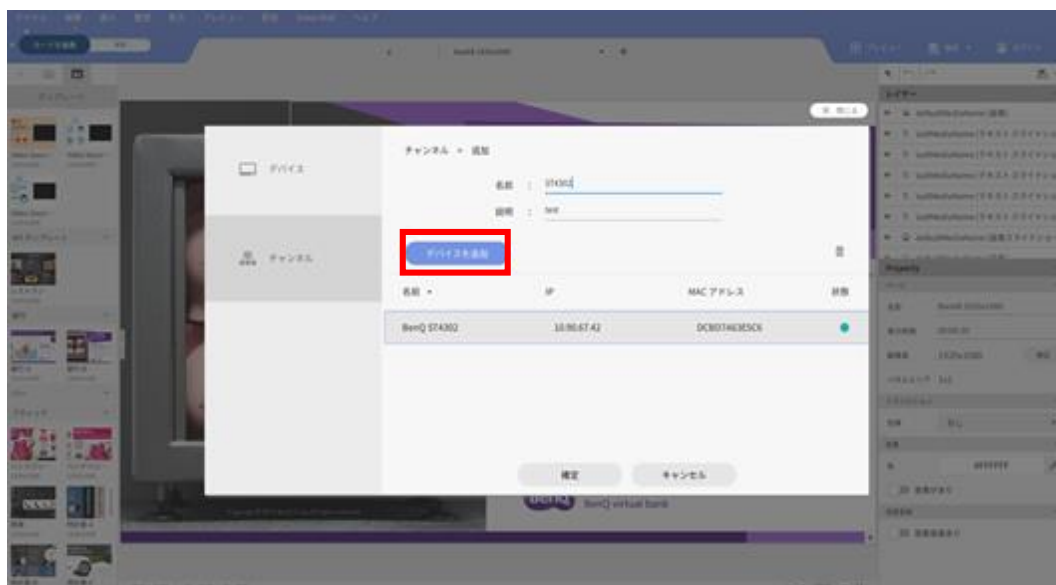
<ご注意> サイネージディスプレイ1台の運用でも、ローカル配信するには「チャンネル」を作る必要があります。

チャンネルより、「チャンネルの追加」を選択

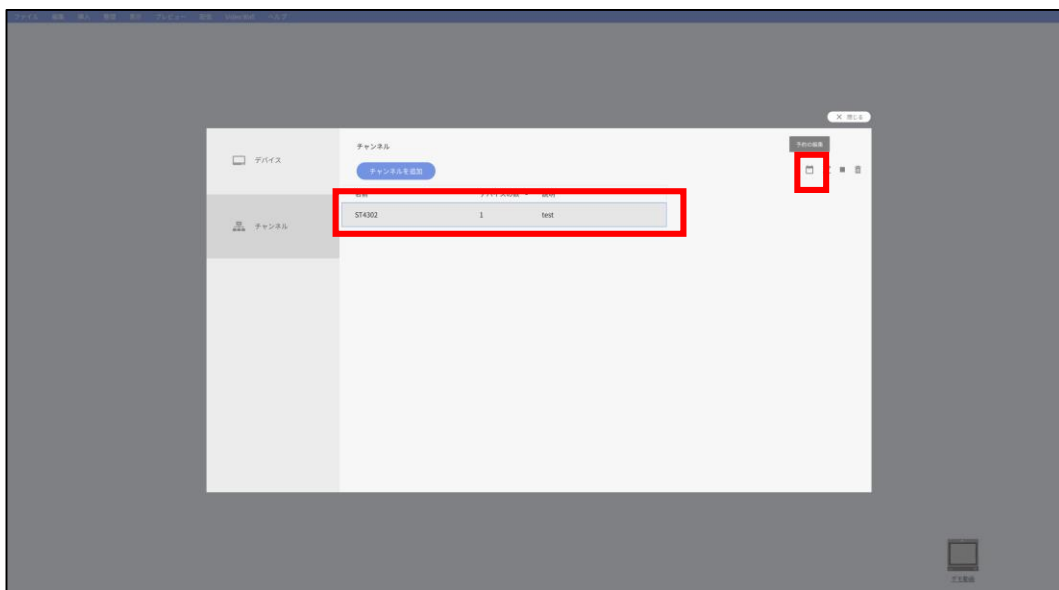


名前、説明を追加します。

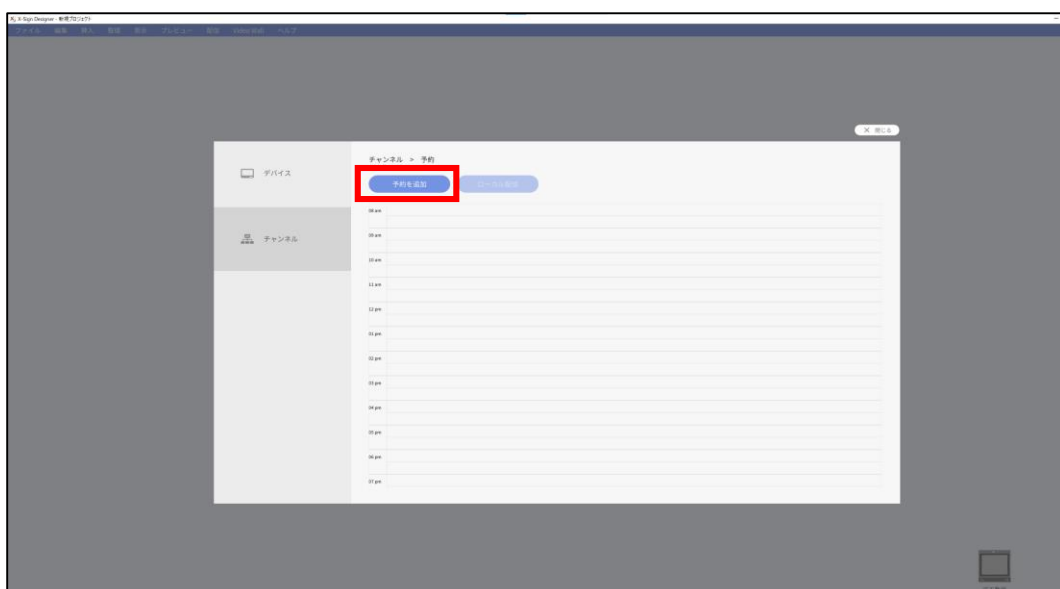
「デバイスの追加」より、サイネージの追加で端末を追加したチャンネルの作成が完了となります。



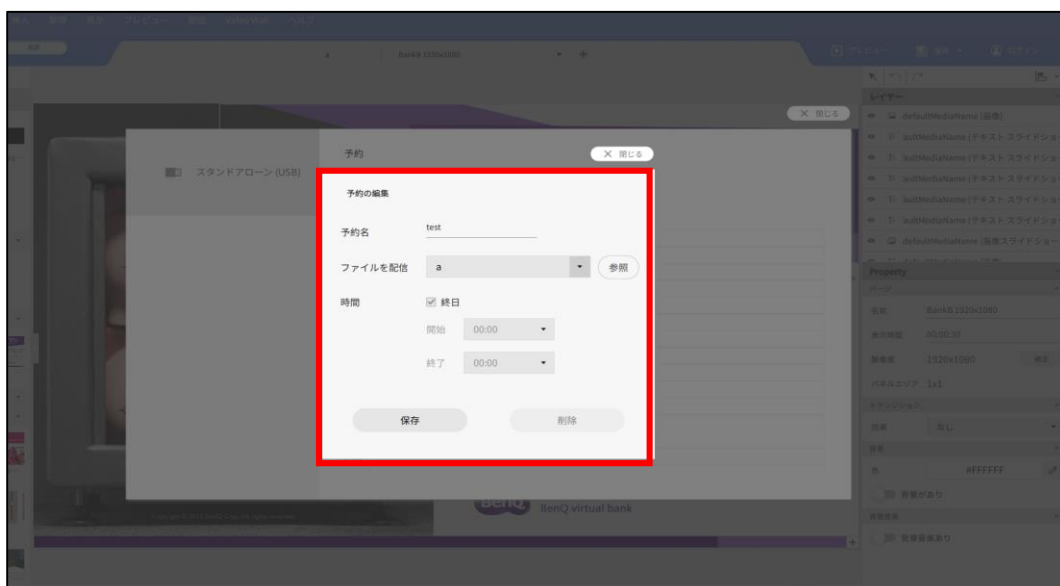
作成したチャンネルを選択し、右上の「予約の編集」を選択



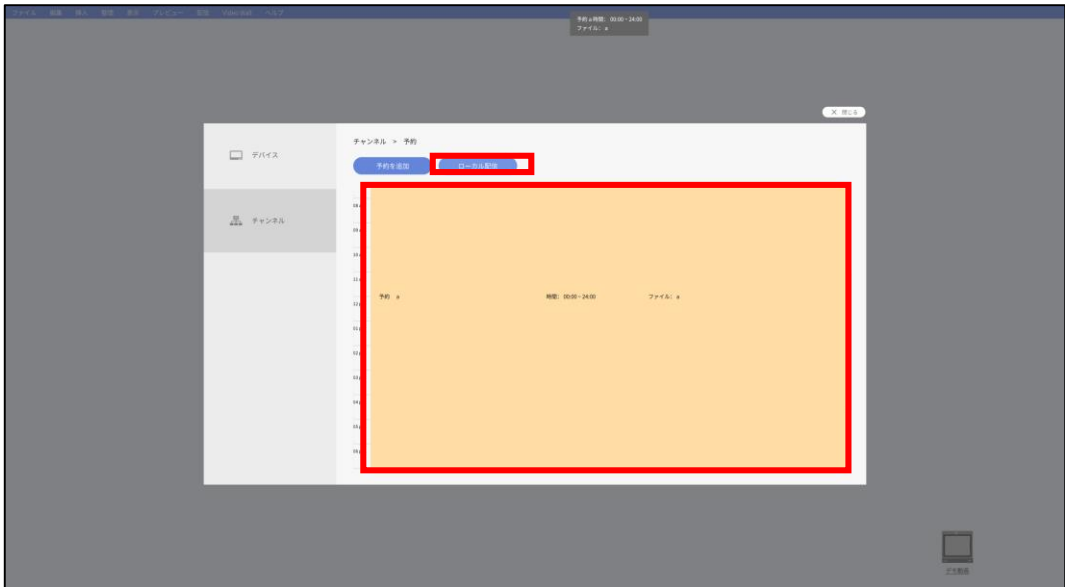
「予約の追加」を選択



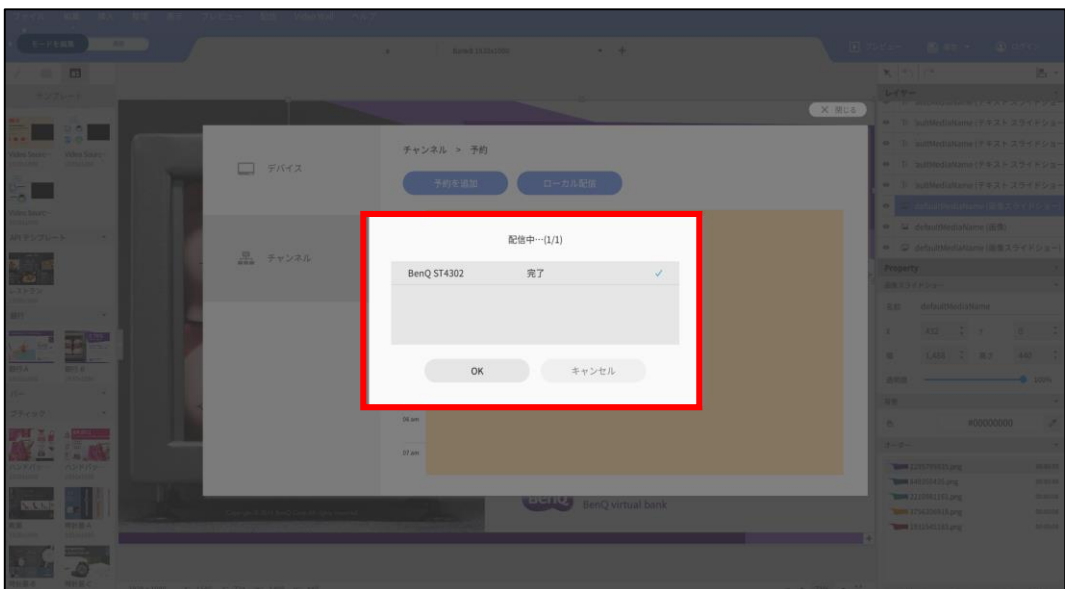
予約の編集画面より、予約名、配信するコンテンツ、配信時間を選択



保存を選択し、予約が完了するとタイムテーブルに予約名と時間が表示されます



「ローカル配信」を選択すると「配信中」のポップアップが表示されます。



完了するとサイネージにコンテンツが表示されます



Manager配信の方法

はじめの準備

- 管理者アカウントの作成
- サイネージディスプレイのペアリング
- ライセンス登録とデバイス登録

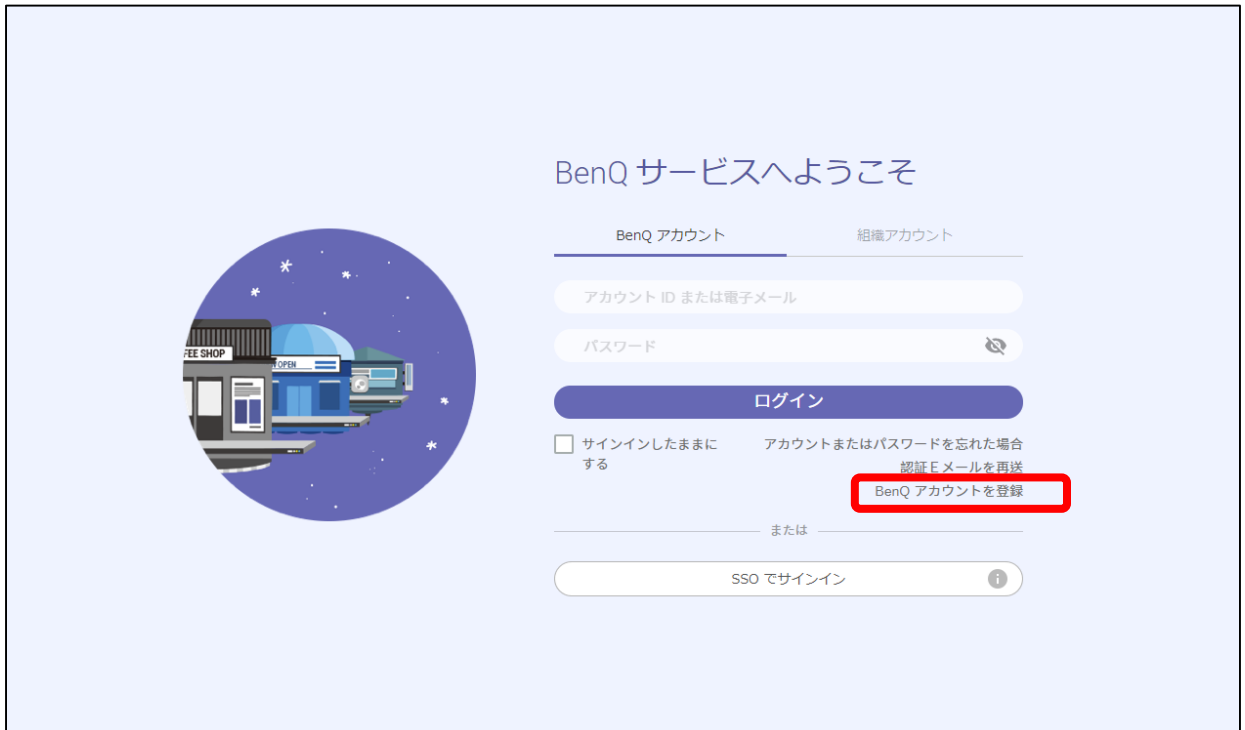
Manager配信

管理者アカウントの作成

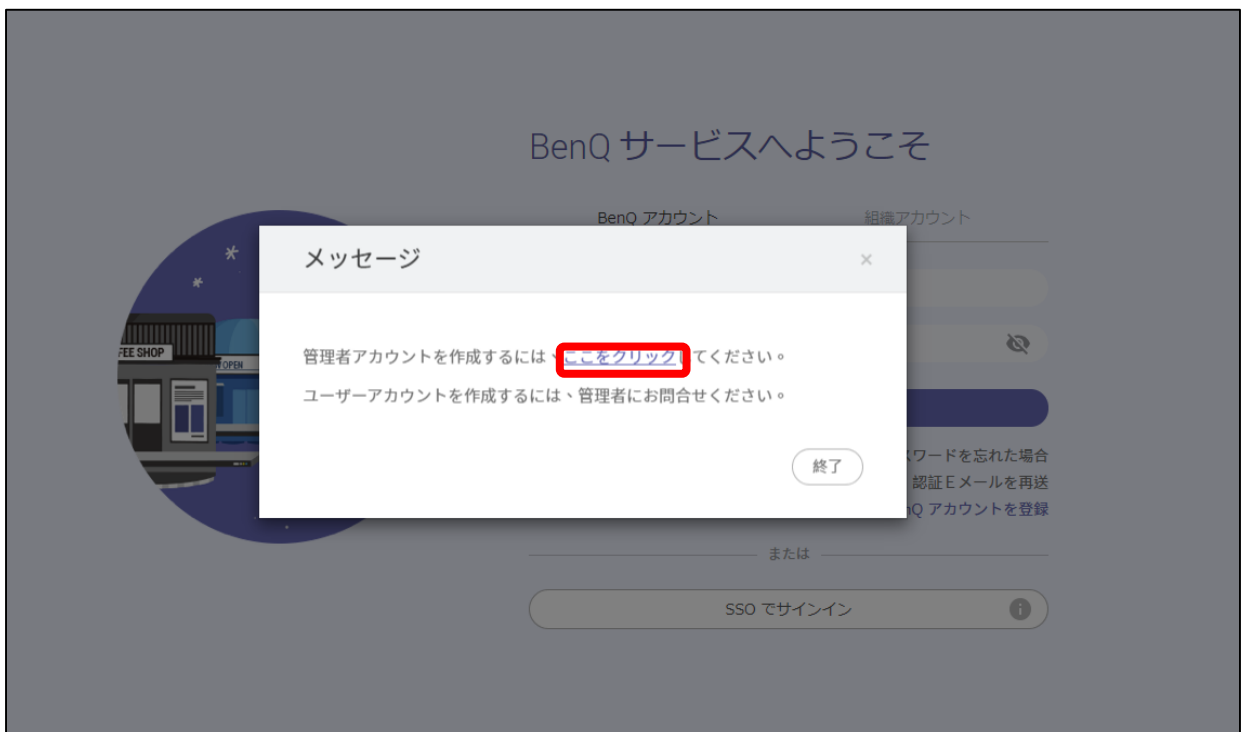
はじめに「BenQサービス」の管理者アカウントを作成します。

1. 「BenQ サービス」ポータルサイトで「BenQ アカウントを登録」を選択

<https://service-portal.benq.com/login>



2. ポップアップ表示されたメッセージの [ここをクリック](#) をクリック



管理者アカウントの作成

3. 赤枠を入力または選択し、「送信」をクリック

管理者アカウントを作成

Eメール

Eメールアドレスをアカウント ID として使う

アカウントID

*注：アカウント名を入力する際、個人データを使用しないでください。プライバシー情報が漏えいする恐れがあります。

名前

業界

会社名

国名

タイムゾーン

私はロボットではありません  プライバシー・利用規約

*ロボットではないことを確認してください

使用条件と [プライバシーポリシー](#) に同意します。

今後、BenQ よりシステム関連の情報についてお問合せさせていただくことがあります。

※「Eメールアドレスをアカウント ID として利用する」に をいれると、メールアドレスでログインできます。

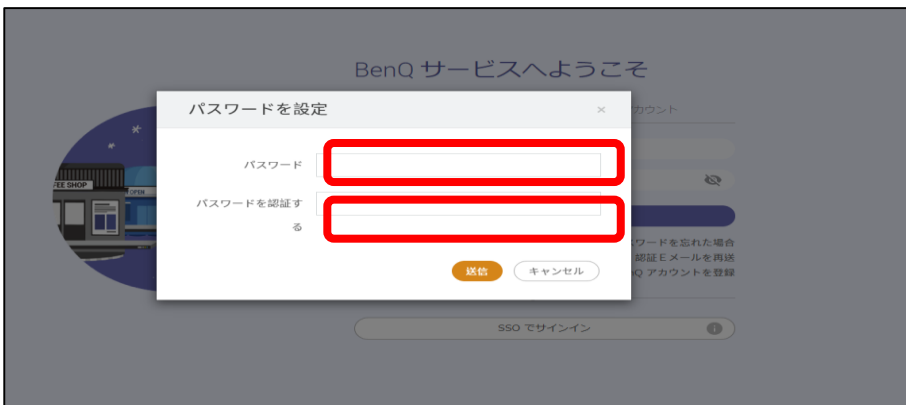
管理者アカウントの作成

4. BenQサービスメンバー認証メールが届いたら、「認証用リンク」を選択

※ iam@no-reply.benq.com より認証メールが届きます。



5. 任意のパスワードを2回入力



6. 2段階認証の設定 (またはスキップ) を選択

※2段階認証の設定をスキップしても後から設定できます。



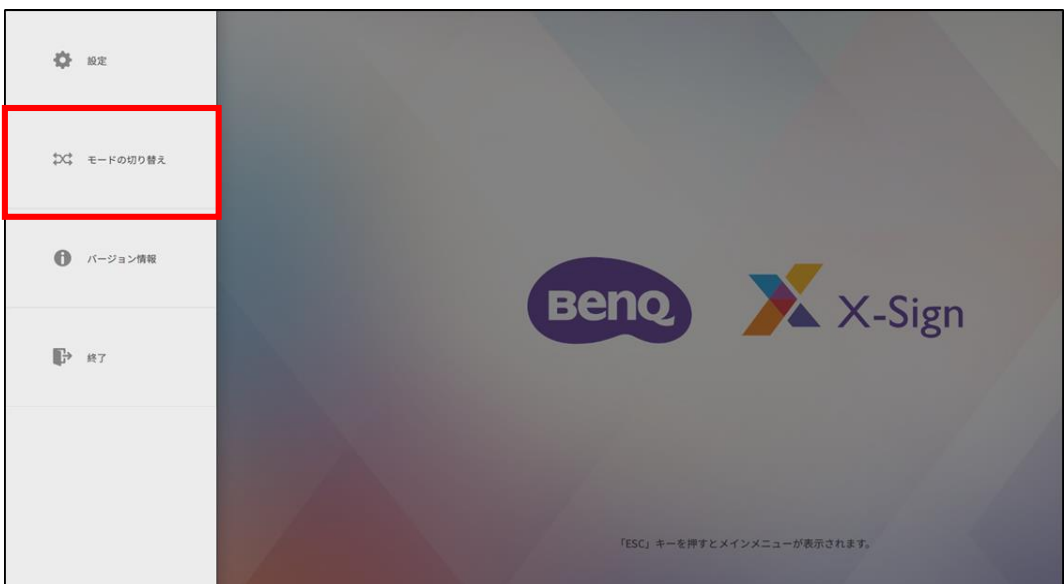
完了すると「BenQサービス」ポータルサイトが表示されます。

次に、サインージのモードを「Manager配信」に切り替えます。

サインージのホーム画面で、リモコンを使って「X-Sign Player 2(XSign2)」アイコンを選択。



メニュー一覧より、「モードの切り替え」を選択します



モードを「Manager」に設定します



ペアリングコードを新しいデバイスを追加の際に入力します

※44ページで使用

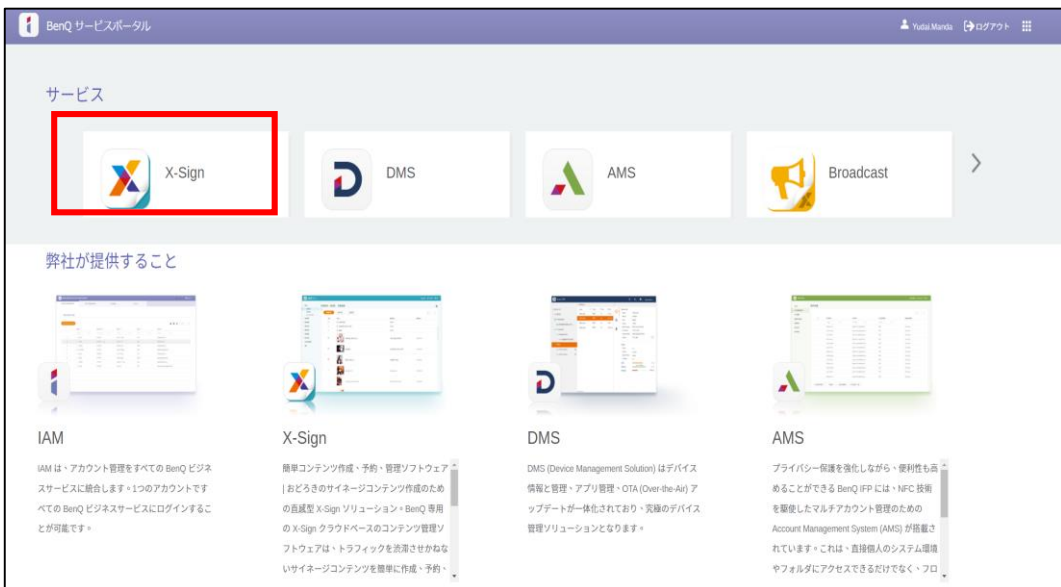


X-Sign Managerの有償ライセンス登録 サイネージディスプレイのデバイス登録

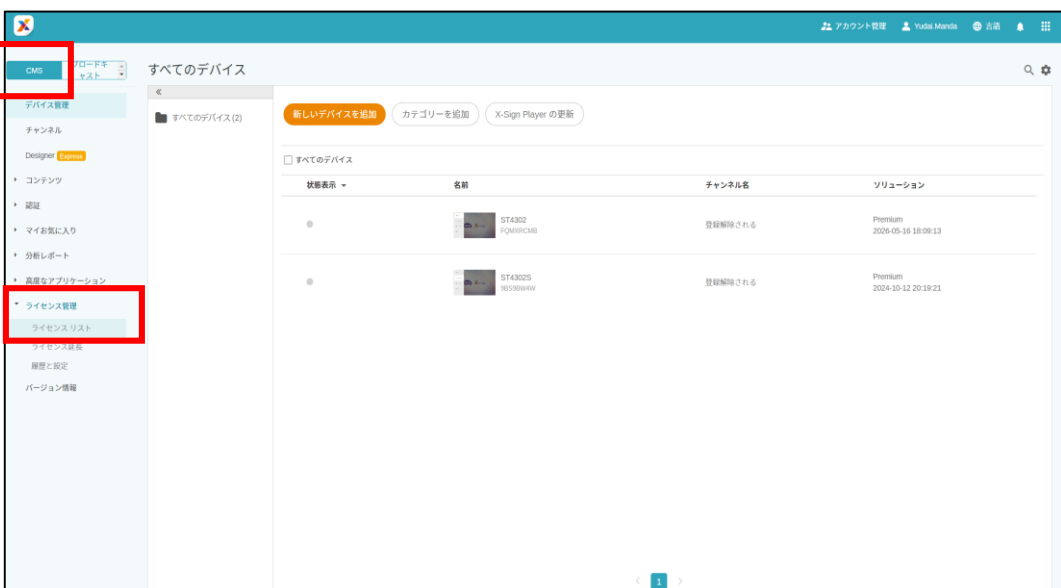
作成したIDとパスワードでログインします <https://service-portal.benq.com/login>



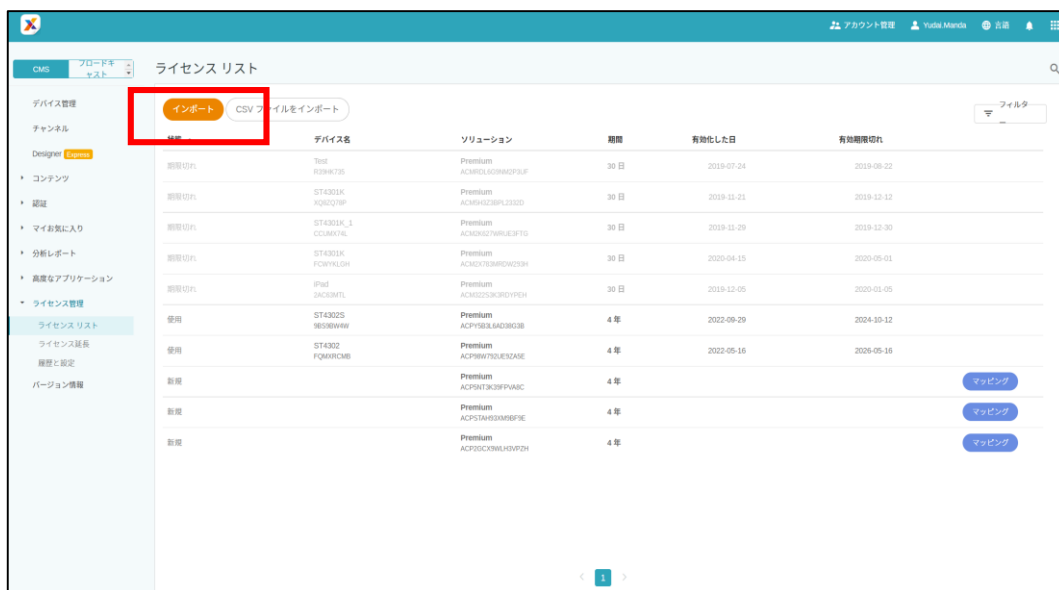
「X-Sign」を選択します



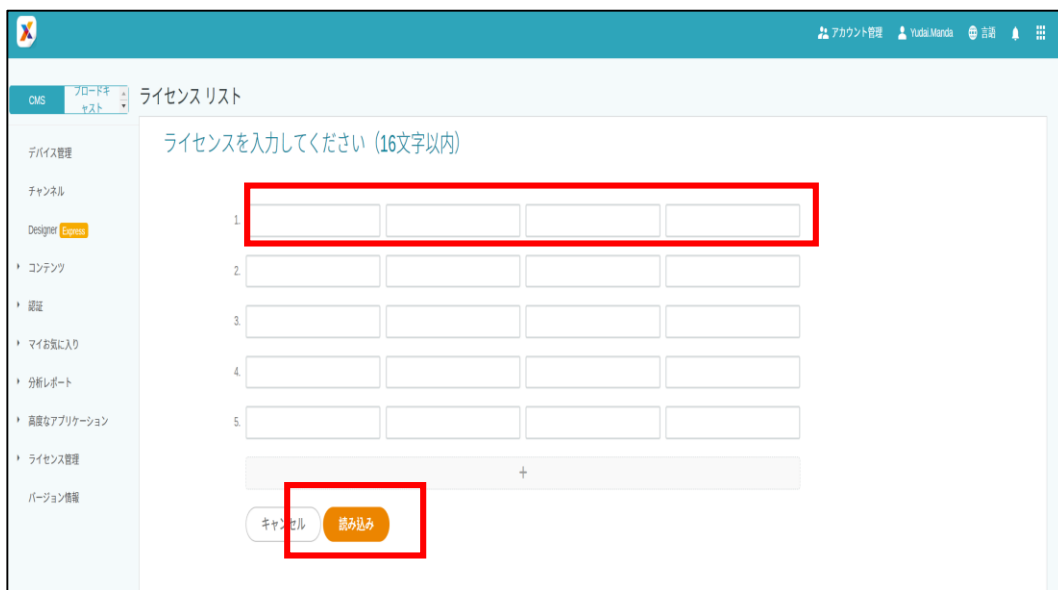
X-Sign コンテンツ管理システム(CMS)画面が表示されたら、
左側タブの「ライセンス管理」で「ライセンスリスト」を選択。



「インポート」を選択。

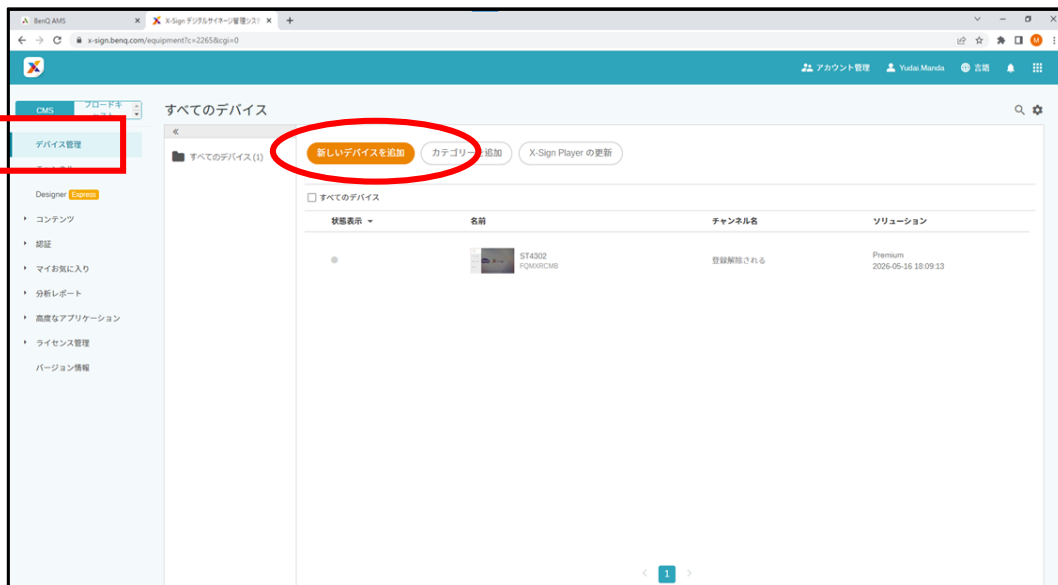


ライセンスを入力し「読み込み」を選択。



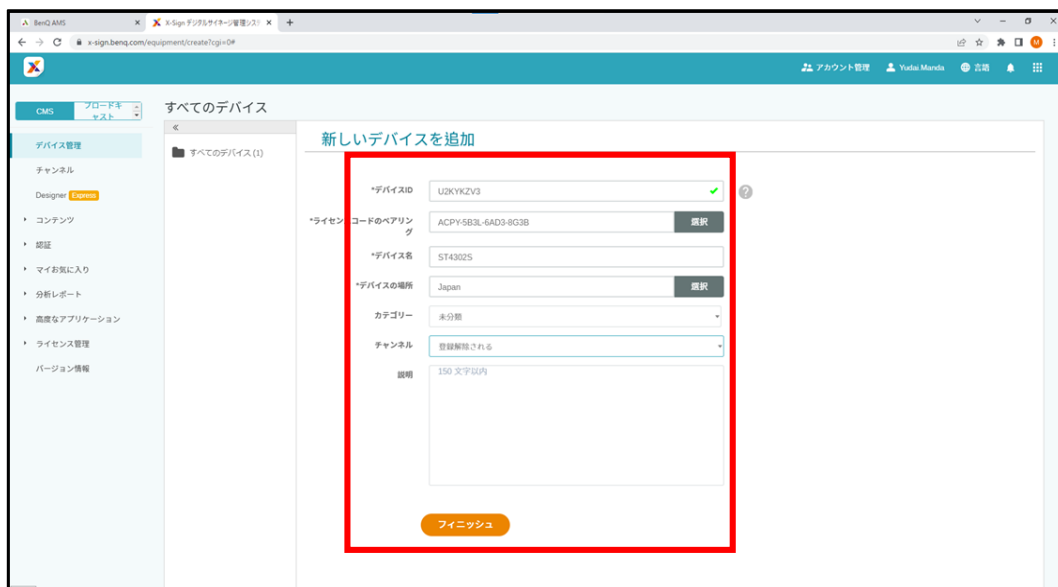
以上で X-Sign Manager有償ライセンスの登録は完了です。

左側タブの「デバイス管理」より、「新しいデバイスを追加」を選択。

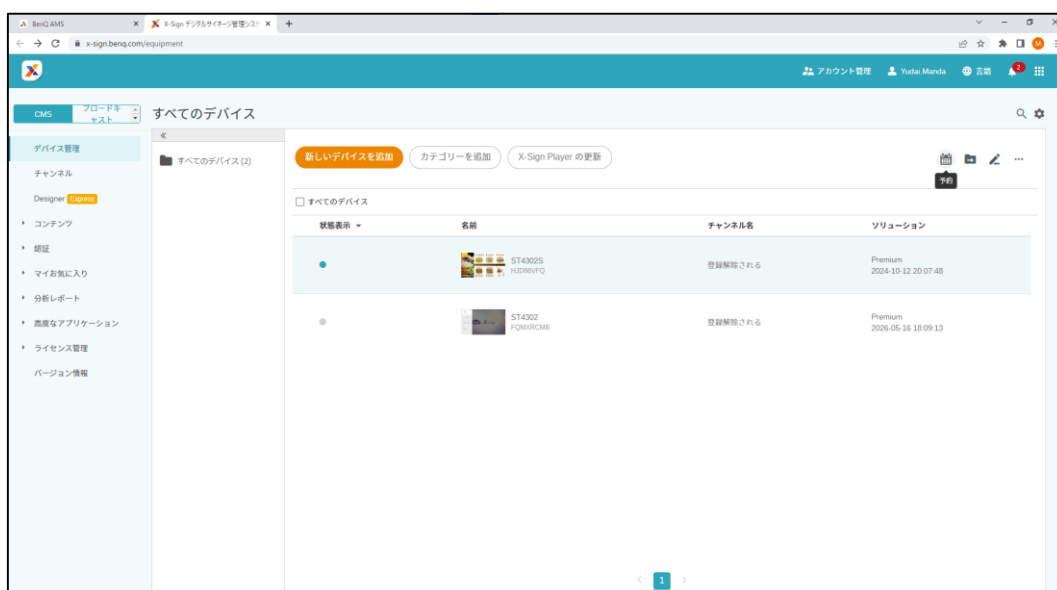


右の情報を入力

- デバイスID
 - ✓ X-Sign ManagerのペアリングID※POO
- ライセンスの割り当て
 - ✓ X-Sign Managerのライセンス
- デバイス名を入力
- デバイスの場所で「Japan」を検索し選択
- フィニッシュを選択



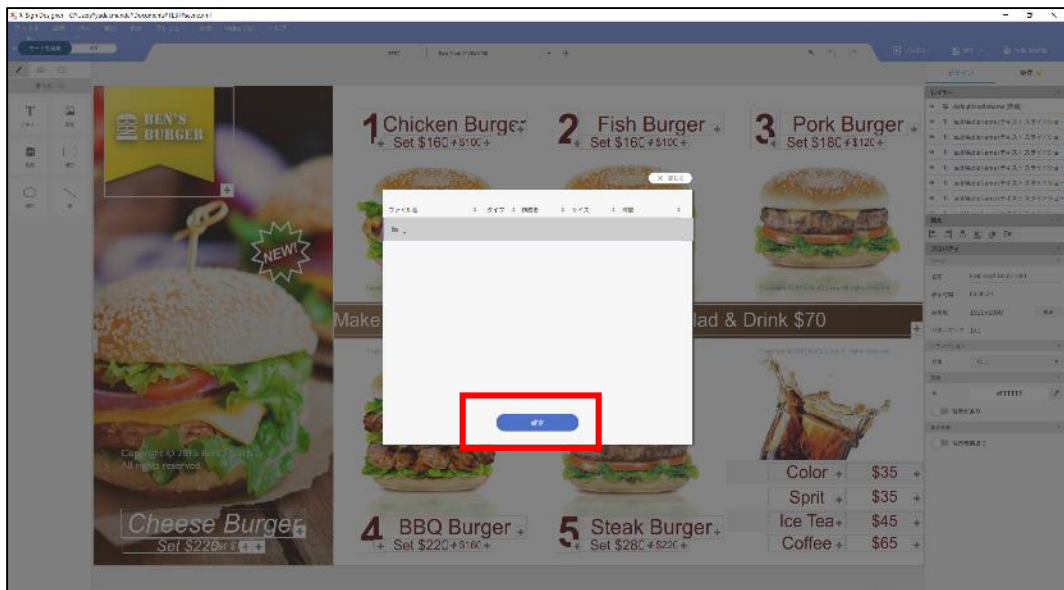
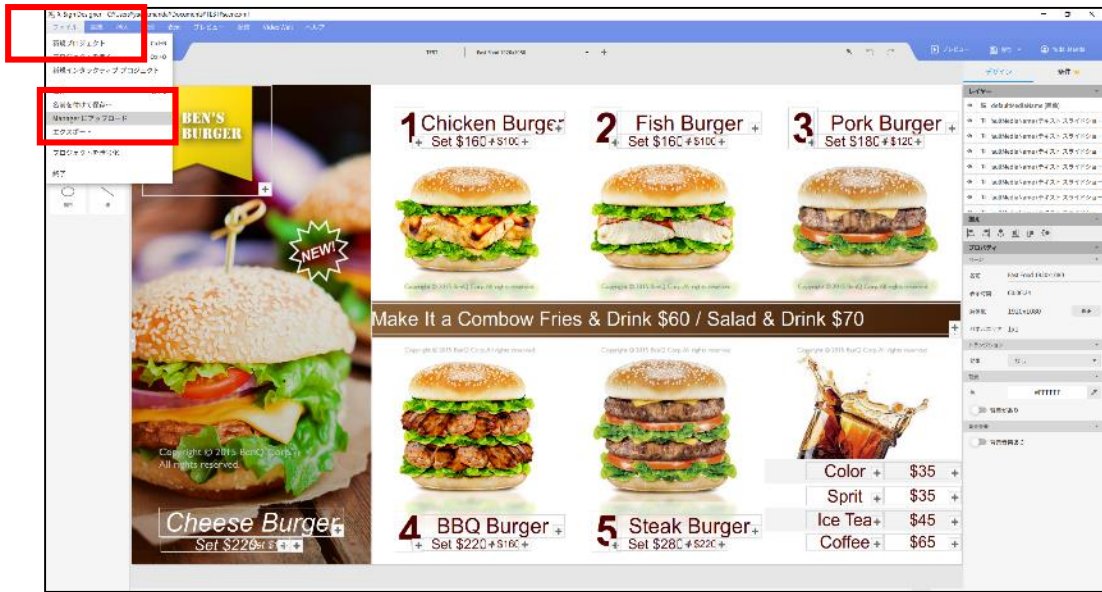
サインエージのデバイス登録は完了です。



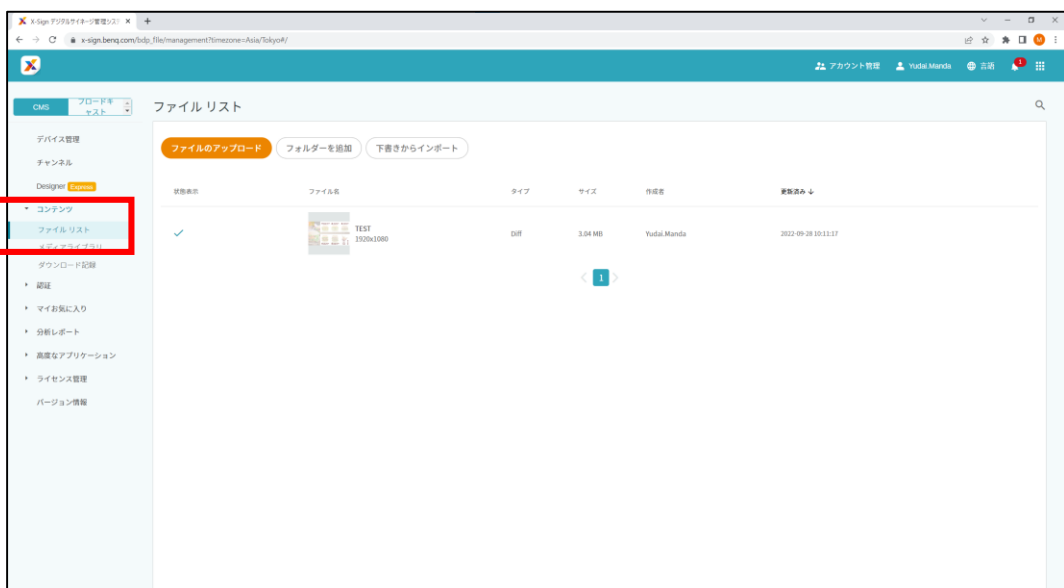
Manager配信

パソコンのX-Sign Designerアプリで作成したコンテンツを、「ファイル」から「Managerにアップロード」を選択することで、コンテンツをクラウドサービスのX-Sign Managerへアップロードできます。

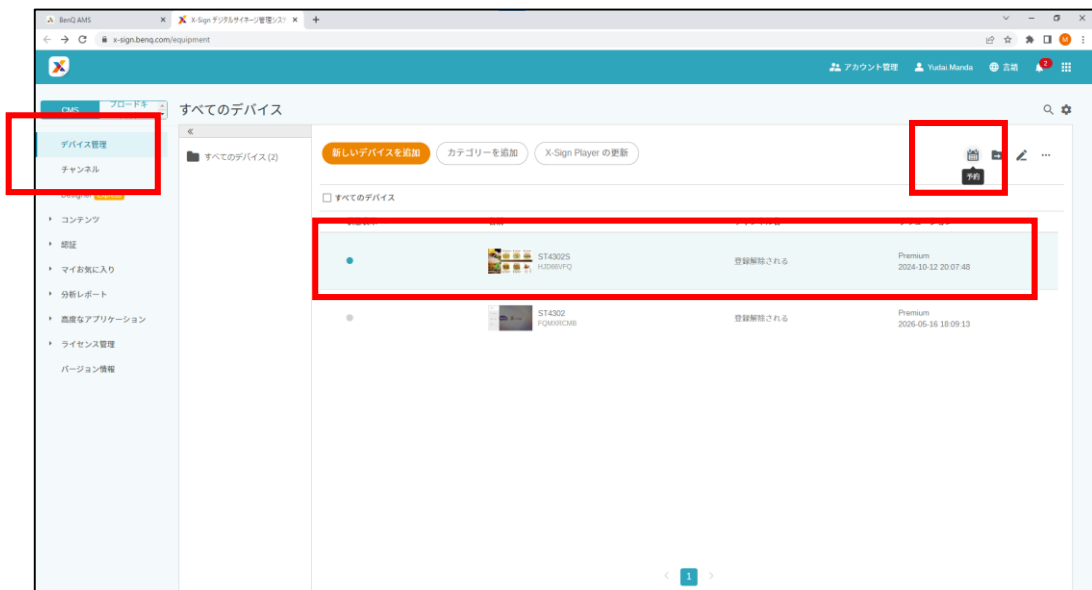
※X-Sign Designerでログインしていない場合は、「Managerにアップロード」をクリックした後にログイン画面が表示されるので、ログインして下さい。



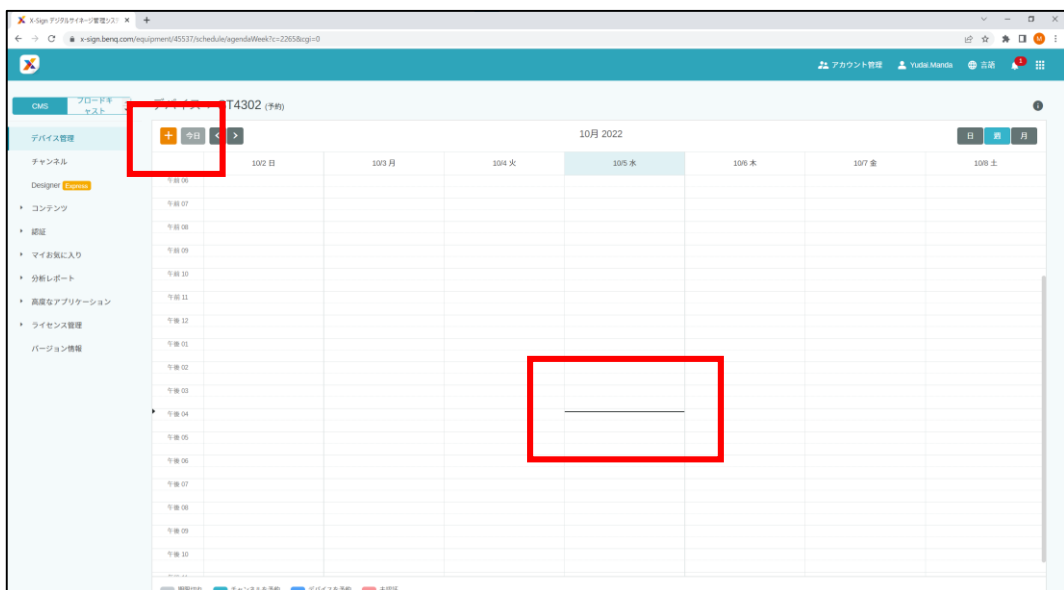
次に、X-Sign Managerにブラウザ経由でログインし、「コンテンツ」→「ファイルリスト」よりコンテンツがアップロードされているか確認します。



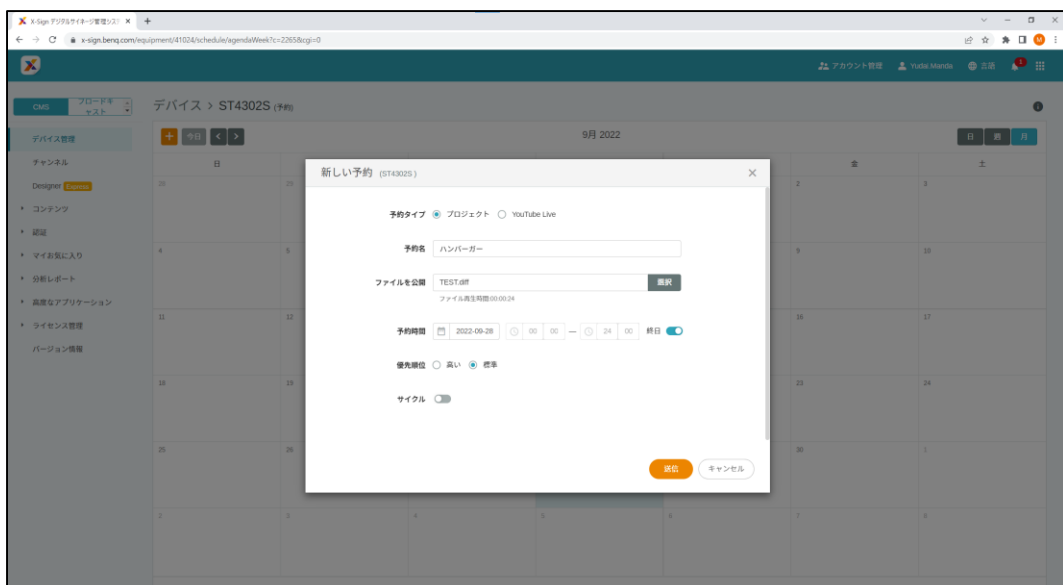
「デバイス管理」より配信したいデバイスの選択、または「チャンネル」よりコンテンツを一斉配信したいチャンネルを選択し、右上の予約（カレンダーアイコン）を選択します。



+ アイコン、またはタイムテーブルのダブルクリックで予約票を作成します。



予約票より、予約名、ファイル、時間、サイクル(周期)などを設定します



※30分未満の配信の場合は予約時間に直接数字を入力してください。

送信を選択すると配信完了となります

BEN'S BURGER

1 Chicken Burger
Set \$160 / \$100

2 Fish Burger
Set \$160 / \$100

3 Pork Burger
Set \$180 / \$120

4 BBQ Burger
Set \$220 / \$160

5 Steak Burger
Set \$280 / \$220

Cheese Burger
Set \$220 / \$160

Color \$35
Sprit \$35
Ice Tea \$45
Coffee \$65

Copyright © 2015 BenQ Corporation. All rights reserved.